

話者コード（本部が記載） ^A
調査者氏名（調査者が記載） ^B

全国方言準備調査 調査票

2009 年 1 月

国立国語研究所
全国方言調査委員会

全国方言準備調査 調査票 目次

調査記録票(フェイスシート)

手引き…i

調査票…1

音韻項目

JP-01	鏡：ガ行鼻濁音…3
JP-02	火事：合拗音…3
JP-03	元日・元旦：合拗音…3
JP-04	正月：合拗音…3
JP-05	寿司・煤：シ・ス…3
JP-06	汗：口蓋化…4
JP-07	背中：口蓋化…4
JP-08	富士（フジ）・藤（フヂ）：四つ仮名…4
JP-09	鈴（スズ）：四つ仮名…4
JP-10	水（ミヅ）：四つ仮名…4
JP-11	知事（チジ）・地図（チヅ）：一つ仮名…5
JP-12	白い・広い：シ・ヒ…5
JP-13	胃・絵：イ・エ…5
JP-14	楊枝（開音）・用事（閉音）：開合…6

語彙項目

JL-001	かたつむり（蝸牛）…9
JL-002	なめくじ（蛞蝓）…9
JL-003	かまきりむし（蟻螂虫）…9
JL-004	とんぼ（蜻蛉）…9
JL-005	ぼうふら（蚊の幼虫）…10
JL-006	<蚊に>さされる…10
JL-007	かぶとむし…10
JL-008	くわがたむし…10
JL-009	アブラムシ…10
JL-010	とかげ（蜥蜴）…11
JL-011	かなへび（金蛇）…11
JL-012	<牛馬の>ひかがみ（膝の裏側）…11
JL-013	うろこ（鱗）…12
JL-014	<蟹の>こうら（甲羅）…12
JL-015	ぶり（鰯）…12
JL-016	つくし（土筆）…13
JL-017	すぎな（杉菜・間荊）…13
JL-018	ほうせんか（鳳仙花）…13

JL-019	ひがんばん（彼岸花）…13
JL-020	まつかさ（松毬）…14
JL-021	きのこ（茸・蕈）…14
JL-022	<柿の>へた（蒂）…14
JL-023	じゃがいも（馬鈴薯）…14
JL-024	さつまいも（甘藷）…14
JL-025	さといも（里芋）…14
JL-026	やまいも（山芋）…15
JL-027	イモの意味…15
JL-028	とうもろこし（玉蜀黍）…15
JL-029	かぼちゃ（南瓜）…15
JL-030	うるち（粳米）…15
JL-031	たく（炊く）…16
JL-032	にる（煮る）…16
JL-033	まないた（俎板）…16
JL-034	せともの（陶磁器）…16
JL-035	ひきにく・ミンチ…16
JL-036	ふけ（雲脂）…17
JL-037	あか（垢）…17
JL-038	ものもらい（麦粒腫）…17
JL-039	した（舌）…17
JL-040	みずおち（鳩尾）…18
JL-041	なかゆび（中指）…18
JL-042	くるぶし（踝）…18
JL-043	かかと（踵）…18
JL-044	ほくろ（黒子）…18
JL-045	あざ（痣）（内出血）…19
JL-046	あざ（痣）（生得）…19
JL-047	あざ（痣）（蒙古斑）…19
JL-048	かさぶた…19
JL-049	しもやけ（凍傷）…20
JL-050	ゆきやけ（雪焼け）…20
JL-051	（服を）きる・はく・かぶる・はめる…20
JL-052	（靴・靴下を）きる・はく・かぶる・はめる…20

JL-053 (帽子を) きる・はく・かぶる・はめる…20
JL-054 (手袋を) きる・はく・かぶる・はめる…20
JL-055 おんぶする (幼児を負う) …21
JL-056 しょう (包みを背負う) …21
JL-057 かつぐ (片方の肩で包を担ぐ) …21
JL-058 かつぐ (材木を担ぐ) …21
JL-059 かつぐ (天秤棒を担ぐ) …21
JL-060 かつぐ (二人で担ぐ) …21
JL-061 はこぶ (運ぶ) …21
JL-062 すてる (捨てる) …22
JL-063 なげる (投げる) …22
JL-064 いく・くる (行く・来る) …22
JL-065 あぐら (胡座) をかく…22
JL-066 ふすま (襖障子) …22
JL-067 いど (井戸) …23
JL-068 いろり (囲炉裏) …23
JL-069 かまど (竈) …24
JL-070 しちりん (七輪) …24
JL-071 からさお (殻棹・唐棹) …24
JL-072 つらら (氷柱) …25
JL-073 けむり (煙) …25
JL-074 じてんしゃ (自転車) …25
JL-075 じょうぎ (定規) …25
JL-076 こくばんけし (黒板消し) …25
JL-077 まご (孫) …25
JL-078 ひまご (曾孫) …25
JL-079 ちょうなん (長男) …26
JL-080 じなんいか (次男以下) …26
JL-081 ちょうじょ (長女) …26
JL-082 じじょいか (次女以下) …26
JL-083 ほんけ (本家) …27
JL-084 ぶんけ (分家) …27
JL-085 おそろしい (恐ろしい) …27
JL-086 びっくりする (驚く) …27
JL-087 とても (程度副詞) おもしろい…28
JL-088 ぜんぜん (陳述副詞) おもしろくない…28
JL-089 おおきい (大きい) …28
JL-090 ちいさい (小さい) …28
JL-091 ふとい (太い) …28
JL-092 ほそい (細い) …29
JL-093 あらい (粗い) …29

JL-094 こまかい (細かい) …29
JL-095 しおからい (塩からい) …29
JL-096 からい (辛い) …29
JL-097 すっぱい (酸っぱい) (梅干しの味) …30
JL-098 すっぱい (酸っぱい) (レモンの味) …30
JL-099 あまい (甘い) …30
JL-100 <塩味が> うすい…30
JL-101 おいしい (美味しい) …30
JL-102 <味が> まずい…30
JL-103 おてだまあそび (お手玉遊び) …31
JL-104 おはじき…31
JL-105 かたあしとび (片足跳び) をする…31
JL-106 めんこ (面子) …31
JL-107 かたぐるま (肩車) …32
JL-108 ふろ (風呂) <児童語>…32
JL-109 かみ・ほとけ (神・仏) <児童語>…32
JL-110 かっぱ (河童) …32
JL-111 おととい (一昨日) …33
JL-112 さきおととい (一昨々日) …33
JL-113 しあさって (明明後日) …33
JL-114 やのあさって (明明明後日) …33
JL-115 いくつ (個数) …33
JL-116 いくつ (何歳) …33
JL-117 いくら (値段) …33
JL-118 かぞえる (数える) …34
JL-119 つゆ (梅雨) …34
JL-120 じしん (地震) …34
JL-121 やま (山) …34
JL-122 もり (森) …34
JL-123 はやし (林) …35
JL-124 たいよう (太陽) …35

文法項目

活用 (動詞)

JG-001 起きる (終止形) …39
JG-002 起きる人 (連体形) …39
JG-003 起きない (否定形) …39
JG-004 a. 五時に (格助詞-時間), b. 起きた (過去形) …40
JG-005 起きれば (仮定形) …40
JG-006 起きろ (命令形) …40
JG-007 開ける (終止形) …40
JG-008 開けない (否定形) …40

JG-009	開けた(過去形・音韻 JP-19 タ行子音有聲化)…40	JG-037	しない (否定形) …46
JG-010	a. 窓を(格助詞-非情物), b. 開けろ(命令形)…41	JG-038	した (過去形) …46
JG-011	寝る (終止形) …41	JG-039	しろ (命令形) …46
JG-012	寝ない (否定形) …41	JG-040	死ぬ (終止形) …46
JG-013	a. 座布団で(音韻 JP-20 ザダ交替), b. 寝た(過去形) …41	活用 (形容詞)	
JG-014	寝ろ (命令形) …41	JG-041	高い (終止形) …46
JG-015	見る (終止形) …41	JG-042	高い物 (連体形) …46
JG-016	見た (過去形) …42	JG-043	高くなる (なる形) …47
JG-017	a. 先生を(格助詞-有情物), b. 見ろ(命令形)…42	JG-044	高くて (て形) …47
JG-018	a. おれが(人称代名詞-自称詞), b. 書く(終止形) …42	JG-045	高く (連用形) …47
JG-019	書く人 (連体形) …42	JG-046	高かった (過去形) …47
JG-020	書かない (否定形・音韻 JP-18 カ行子音有聲化) …42	JG-047	高ければ (仮定形) …47
JG-021	書いた (過去形・音韻 JP-15 連母音アイ) …42	活用 (形容動詞)	
JG-022	書けば (仮定形) …43	JG-048	静かだ (終止形) …47
JG-023	a. おまえが (人称代名詞-対称詞), b. 書け (命令形) …43	JG-049	静かな所 (連体形) …48
JG-024	a. 木を(格助詞-非情物(植物)), b. 切らない(否定形) …43	JG-050	静かでない (否定形) …48
JG-025	a. 指を(格助詞-非情物(人体)), b. 切った (過去形) …43	JG-051	静かだった (過去形) …48
JG-026	a. 髪を(格助詞-非情物(人体)), b. 切れ(命令形) …43	JG-052	静かなら (仮定形) …48
JG-027	出した (サ行: 過去形) …44	否定	
JG-028	研いだ (ガ行: 過去形・音韻 JP-17 連母音オイ) …44	JG-053	足りない (活用-否定形) …48
JG-029	飛んだ (バ行: 過去形) …44	JG-054	行かない (活用-否定形) …48
JG-030	a. 酒を(格助詞-非情物), b. 飲んだ (マ行: 過去形) …44	JG-055	行きはしない (取立) …49
JG-031	買った (ワ行: 過去形) …44	JG-056	知らない (活用-否定形) …49
JG-032	a. どろぼうが (格助詞-有情物(目下)), b. 来る (終止形) …45	JG-057	知りはしない (取立) …49
JG-033	a. 台風が (格助詞-非情物), b. 来ない (否定形) …45	JG-058	見ない (活用-否定形) …49
JG-034	a. バスが (格助詞-非情物), b. 来た (過去形) …45	JG-059	見はしない (取立) …49
JG-035	a. 車で (格助詞-手段方法), b. 来い (命令形) …45	JG-060	高くない (活用-否定形) …50
JG-036	する (終止形) …45	JG-061	高くない (取立) …50
		JG-062	行かなかった (過去) …50
		JG-063	見なかった (過去) …50
		JG-064	行かなくなる (なる形) …50
		JG-065	行かなければ (仮定形) …50
		JG-066	行かなくて (付帯状況(因果)) …51
		格助詞	
		JG-067	a. それは(主題助詞), b. おれの(有情物(話し手)) …51
		JG-068	おれのだ (有情物(話し手)) …51
		JG-069	おまえの (有情物(聞き手)) …51
		JG-070	バスの (非情物) …51
		JG-071	台風の (非情物) …52
		JG-072	先生の (有情物(目上)) …52

JG-073	先生のだ（有情物（目上））…52	JG-101	行っただめだ（逆接-仮定）…57
JG-074	どろぼうの（有情物（目下））…52	条件	
JG-075	〔長男※語彙項目 JL-079〕の（有情物（親族（上）））…52	JG-102	行ったら（終わっていた）（事実）…57
JG-076	〔次男以下※語彙項目 JL-080〕の（有情物（親族（下）））…52	JG-103	行くと（だめになりそうだ）（後件：懸念）…58
JG-077	a. 学校に（移動方向）, b. 行った（活用-過去形）…53	JG-104	行ったら（電話しろ）（後件：命令）…58
JG-078	a. 東の方へ（移動方面）, b. 行け（活用-命令形）…53	JG-105	書くなら（きれいに書いてくれ）（後件：依頼）…58
JG-079	a. 仕事に（動作の目的（名詞））, b. 行かないで（否定-付帯状況）…53	JG-106	降ったら（行かない）（後件：意志）…58
JG-080	a. 見に（動作の目的（動詞））, b. 行く（活用-終止形）…53	JG-107	高いなら（買わない）（後件：意志）…58
JG-081	a. 東京に（帰着点）, b. 着いた（音韻 JP-16 ウイ連母音）…53	JG-108	降れば（出ないだろう）（後件：推量）…58
JG-082	大工に（変化の結果）…54	アスペクト	
JG-083	a. ここに（存在場所（非意志的））, b. あるのは（存在動詞・準体助詞）…54	JG-109	走っている（進行-動作動詞）…59
JG-084	運動場で（動作場所）…54	JG-110	散っている（進行-変化動詞）…59
JG-085	一万円で（手段方法）…54	JG-111	読んでしまった（完了）…59
JG-086	息子に手伝ってもらった（授受対象者）…54	JG-112	食べかける・食べかけている（始動）…59
JG-087	a. 友達に（受身の動作主-受益）, b. 助けられた（受身-受益）…54	テンス	
JG-088	a. 犬に（受身の動作主-迷惑）, b. 追いかけられた（受身-迷惑）…55	JG-113	いるか（非過去：あいさつ）…60
JG-089	田中という人（名称指定）…55	JG-114	いた（過去-体験）…60
JG-090	来ると言っていた（引用）…55	JG-115	行ったら（なあ）（過去-体験・非体験）…60
副助詞		JG-116	強かった（過去-自他）…61
JG-091	雨ばかり（対象の排他的特定化）…55	JG-117	いたそうだ（伝聞-過去（非体験））…61
JG-092	皮ごと（対象の包括化）…55	可能	
JG-093	a. 百円玉しか（対象外の否定）, b. ない（活用-否定形）…56	JG-118	読むことができない（能力-否定-五段）…61
JG-094	a. 食いながら（同時進行）, b. 歩くな（禁止）…56	JG-119	読むことができる（能力-肯定-五段）…61
JG-095	皮だけ（食べた）（対象の限定）…56	JG-120	読むことができない（状況-否定-五段）…62
JG-096	百円玉だけない（対象の限定）…56	JG-121	読むことができる（状況-肯定-五段）…62
JG-097	お茶でも（適宜選択）…56	JG-122	着ることができない（能力-否定-一段）…62
接続助詞		JG-123	着ることができる（能力-肯定-一段）…62
JG-098	降っているから（原因理由）…57	JG-124	着ることができない（状況-否定-一段）…62
JG-099	寒いけれども（逆接-確定）…57	JG-125	着ることができる（状況-肯定-一段）…62
JG-100	行かなくても（逆接-仮定）…57	断定, 推量, 確認要求	
		JG-126	雨だ（断定-非過去）…63
		JG-127	雨だった（断定-過去）…63
		JG-128	雨だろう（推量-名詞述語）…63
		JG-129	行くだろう（推量-動詞）…63
		JG-130	行くのだろう（推量-動詞準体型）…63
		JG-131	行っただろう（推量-動詞-過去）…64
		JG-132	行っただろう（推量-動詞準体型-過去）…64
		JG-133	あるじゃないか（確認要求）…64
		JG-134	あるんじゃないか（確認要求）…64
		義務, 意志, 希望	
		JG-135	行かなければならない（義務）…64

JG-136	書こう (意志-五段) …65	JG-161	(聞き手が) 来るか : B 場面…70
JG-137	起きよう (意志-一段) …65	JG-162	a. 家に (格助詞-存在場所 (意志的)), (聞き手が) いるか : 0 場面…70
JG-138	行くまい (否定意志) …65	JG-163	(聞き手が) いるか : A 場面…71
JG-139	行きたいなあ (希望) …65	JG-164	(聞き手が) いるか : B 場面…71
JG-140	行ってもらいたい (希望) …65	JG-165	(聞き手が) いるか : 父親に…71
授与, ヴォイス		JG-166	来い : A 場面…71
JG-141	a. 孫に (格助詞-授与対象者), b. やる (本動詞 : 意志文) …66	JG-167	来い : B 場面…71
JG-142	やった (本動詞 : 叙述文) …66	JG-168	a. 先生が (格助詞-有情物 (目上)), b. 来る : 0 場面…72
JG-143	読んでやる (補助動詞 : 意志文) …66	JG-169	先生が来る : A 場面…72
JG-144	読んでやった (補助動詞 : 叙述文) …66	JG-170	先生が来る : 父親に…72
JG-145	来させる (使役) …66	JG-171	近所の知り合いが来る : 0 場面…72
応答詞		JG-172	友達が来る : 0 場面…72
JG-146	いや, 飲まない (肯定疑問への否定文回答) …67	JG-173	自分の父親が来る : 0 場面…73
JG-147	うん, 飲む (肯定疑問への肯定文回答) …67	JG-174	自分の父親が来る : A 場面…73
JG-148	うん, 飲まない (否定疑問への肯定文回答) …67	JG-175	自分の父親が来る : B 場面…73
JG-149	いや, 飲む (否定疑問への否定文回答) …67	JG-176	自分の父親が来る : 母親に…73
待遇		JG-177	自分の配偶者が来る : 0 場面…73
JG-150	(自分が) 来る : A 場面…68	JG-178	雨だ : A 場面…74
JG-151	(自分が) 来る : B 場面…68	JG-179	雨だ : B 場面…74
JG-152	(聞き手が) 書くか : 0 場面…68	JG-180	[太陽※語彙項目 JL-124] がのぼった…74
JG-153	(聞き手が) 書くか : A 場面…68	JG-181	おはよう : A 場面…74
JG-154	(聞き手が) 書くか : B 場面…68	JG-182	おはよう : 0 場面…74
JG-155	(聞き手が) 書くか : 父親に…69	JG-183	おはよう (家族に) …75
JG-156	(聞き手が) 書くか : 配偶者に…69	JG-184	ありがとう…75
JG-157	(聞き手が) 書くか : [本家※語彙項目 JL-083]・[分家※語彙項目 JL-084] の主人に…69	JG-185	いただきます…75
JG-158	(聞き手が) 行くか : A 場面…70	JG-186	ごちそうさま…76
JG-159	(聞き手が) 行くか : B 場面…70	JG-187	詠嘆 (熱い: 感覚, 恐い: 感情, 高い: 状態) …76
JG-160	(聞き手が) 来るか : A 場面…70		

解説…79

音韻項目 (準備調査) の分類一覧…81

語彙項目 (準備調査) の分類一覧…82

文法項目 (準備調査) の分類一覧…84

調査記録票（調査現場での記入用） 小さいアルファベットは右頁の欄名

調査開始日 ^N	20	年	月	日	所要時間 ^O	時間	分
調査者氏名 ^B				調査場所(自宅・公民館など)			

お名前は何とおっしゃいますか。 ^{C・D・E} (ふりがな) _____男・女	お生まれは、何年何月何日ですか。 ^{F-1・F-2} 明・大・昭 年 月 日
--	--

御住所(現住地)はどちらですか(最新の合併後の住所)。 ^{J・K・L} 〒 _____ 電話番号 _____

御職業を教えてください。 ^R (退職後や職歴が複数ある場合、従事した主要な職を選択する。複数選択可。) a 農林業 b 漁業 c 商業 d 職人 e 僧侶神官 f 教員 g 公務員 h 議員 i 会社員 j 医療 k 専業主婦 x 無職 y その他 (_____)

経歴	15歳までの間にもっとも長く過ごされた所(生育地)は、現在お住まいの場所ですか。 ^M はい いいえ→(市郡・町村・字名・できれば丁目番地まで)
	小学校は、何小学校ですか。(転校があった場合は、もっとも長く過ごした小学校) ^S
	最後に卒業された学校を教えてください。 ^T
	生育地の市区町村外で5年以上続けて生活なさった経験は、お持ちですか(同一市区町村内での移動は問わなくて良い。) ^{P・Q} 場所(市区町村) 年齢(○歳～○歳) 期間(年数) 目的(学校、仕事等)

次の方は、どちらのご出身ですか。(市区町村まで) お父さんは ^U … お母さんは ^V … 奥さん(ご主人)は ^W …
--

備考(地点の旧小字名、話者の特徴、同席者の氏名・経歴など) ^X
--

話者ポイントの選択 ^{G-1} (現住地と生育地が異なる場合、地図上にプロットする場所としていずれが適当か、話者の経歴を元に方言学的見地から調査者が判断して選択する。両者が同じ場合は、現住地を選択する。) 現住地 生育地
話者ポイント(衛星GPS(携帯電話・PHSは不可)が利用できる場合、上で選択した現住地か生育地の経度緯度を確認) ^{H・I} 東経 度 分 秒, 北緯 度 分 秒

A 話者コード（本部が記載）			B 調査者氏名		
C 話者氏名			F-1 話者の生年月日（西暦） 19 年 月 日		
D 話者氏名の読み(ひらがな)	E 話者の性別 男 ・ 女		F-2 話者の調査時の年齢 歳		
G-1 話者ポイントの選択 ☐ 現住地 ☐ 生育地					
G-2 話者ポイントの決定方法(本部が記載) ☐ GPS ☐ アドレスマッチング ☐ 地形図から測定					
話者ポイント(GPS で測定した場合，調査者が記載。それ以外は，本部が記載) H 東経 度 分 秒， I 北緯 度 分 度					
話者住所(現住地) J 郵便番号 〒 — K 住所 L 電話番号					
M 話者生育地 ☐ K に同じ ☐ K 以外→					
N 調査開始日 20 年 月 日			O 所要時間 時間 分程度		
※以下の「外住」は，生育地の市区町村から連続して5年以上離れたことを指す。同一市区町村内は離れていないとみなす。					
P 話者の外住年数の計（15 歳まで） 年			Q 話者の外住年数の計（16 歳以降） 年		
R 話者の職業(以下から選択して○で囲む。複数選択可。) a 農林業 b 漁業 c 商業 d 職人 e 僧侶神官 f 教員 g 公務員 h 議員 i 会社員 j 医療 k 専業主婦 x 無職 y その他（ ）					
S 小学校名					
T 最終卒業学校(以下から選択して○で囲む。) 小学校 中学校 高校 大学 大学院 その他（ ）					
U 父親の出身地					
V 母親の出身地					
W 配偶者の出身地					
X 備考（調査地点の旧小字名，話者の特徴，同席者の氏名・経歴など）					

手引き

・調査票の目的

この調査票は、将来の全国方言調査に向けた準備調査のための調査票である。この調査票を用いた準備調査を通して、本調査における調査方法・対象話者・調査項目などの設計を行うことを計画している。なお、調査全体の目標・調査項目選定の経緯等については、巻末の解説を参照のこと。

1. 話者の条件

対象となる話者の条件は、以下の通りである。

- (1)年齢 調査時点で70代以上(ただし、言語感覚が優れているなど余人をもって代えがたい話者においては60代も可)
- (2)性別 男女は問わない
- (3)居住歴 生え抜きを基本とするが、言語形成期(15歳まで)を含む他地域への移動がおおむね5～10年以内におさまるならば可とする。なお、同一市区町村(いわゆる平成大合併以前の行政区)内での移動は移動と見なさない(ただし、同一市区町村内でも方言区画が大きく異なる等のケースについては、方言学的知見に基づき各調査者で判断する)。

2. 録音

調査時に録音することは必須ではない(録音関係の承諾書等も求めない)。あくまでも調査者の個人的記録の範囲で録音することとする。

3. フェイスシートの記載方法

- ・調査現場では「調査記録票」(見開き左側)を使い、話者に必要事項を尋ねて書き込む。
- ・職歴は、回答をもとに判断し、選択肢から適宜選ぶ。
- ・生育地が現住地と異なるとともに、調査者において地図上におくべきポイント(以下、「話者ポイント」)が生育地であると判断される場合には、生育地の住所をできるだけ詳しく聞き出して記載する(現在の住居表示に従うことが望ましいが、旧地名でも構わない)。
- ・居住歴については、5年未満の移動は記載しなくて良い。なお、同一市区町村内での移動は、移動と見なさない。
- ・GPSの利用が可能な調査者は、話者ポイントをGPSで測定する。なお、測定は人口衛星利用の専用GPS装置で行う。携帯電話・PHSのGPS機能は誤差が大きいため不可。
- ・GPSでの測定において、話者ポイントが調査場所の現住地ではない生育地であると判断された場合、できる限り話者の生育地に行き、GPSで測定する。不可能な場合は、生育地の住所を確実に記録する。
- ・調査終了後、「調査記録票」の内容を整理して、見開き右側の「全国方言準備調査記録票」の各欄に転記する。
- ・話者ポイントについては、「8. 話者ポイントの指定」を参照のこと。

手引き

4. 調査票の構成

調査票は、音韻項目・語彙項目・文法項目の三分野で構成されている。分野ごとに項目には通し番号が付されており、頭の JP は音韻、JL は語彙、JG は文法の項目であることを示している。

調査票とは別に調査のための絵カード(『全国方言準備調査 絵カード票』)も用意されている。調査に出向く際には持参を忘れないようにする。

5. 調査項目の見方等

各調査項目は、次の例に示したような形式で設定されている。

質問番号 調査項目名 質問文 調査時の注意事項

JL-103 おてだまあそび(お手玉遊び)
(絵) 女の子の遊びです。何と言う遊びですか。この子どもは何をして遊んでいると言ったらよいでしょう。遊ぶ時に使う小さな袋には、あずきや小石などを入れて作ります。※遊びの名称を聞き出す。遊びと道具の名称が違うことが報告された場合は〈遊びの名称〉〈道具の名称〉のように注記を付ける。#LAJ3-145・146 改

LAJ・GAJ の関連地図(例は LAJ3 集 145・146 図。「改」は質問文を改変したこと)
別紙の絵カード票を使うことの指示

文法項目では、次の例のように設定されていることが多い。

JG-078 a. 東の方へ(移動方面), b. 行け(活用-命令形)
友達から「どちらの方角に行ったら良いか」と聞かれて、「a 東の方へ b 行け」と教えるとき
にはどのように言いますか。※[~の方へ]の形を求める。#a:GAJ1-19

基本的に他項目と同じ形式であるが、下線を付した箇所該当する形式の報告を求めている。なお、この例においては、a・b の 2 箇所の形式の報告を求めている。

調査にあたっては、いずれの項目においても「※」を付した「調査時の注意事項」への留意を忘れないようにする。

6. 語形・情報の報告・表記

- ・ 話者自身が現在使う、もしくはかつて使用した語形(調査項目によっては、情報)を記録・報告する。話者が使わない語形に関する情報は、注記として報告する。
- ・ 話者が「現在使う」と「かつて使った」は異なるが、峻別が困難なことが多い。話者が特段に区別して情報を提供しない限りは、これらを分けなくてよい。
- ・ 調査結果(回答)は、調査票の各項目の下空スペースに直接書き込む。筆記用具は、各調査者が使い慣れているもので構わない。
- ・ 語形の表記は、日本の方言学の中で通用しているブロードな IPA 表記に従う。表記方法の詳細は、「付録 1 音声の表記法」(次々頁に掲載)に従う。
- ・ 語形は、直接表記する。[] に括らない。
[例] ○ i k e × [i k e]
- ・ 特に必要がない限りアクセントは表記しなくてよい。
- ・ 併用語形は行を分けて列挙することを原則とする(ただし、スペースの関係でやむをえ

手引き

ない場合は、／(スラッシュ)で区切って列挙する)。配列は、回答順に従う必要はない。

[例] 《原則として行を分ける》 i k e
i n e

[例] 《やむをえない場合はスラッシュで区切る》 i k e / i n e
《コンマなどで区切らない》 × i k e , i n e

- ・回答が得られない場合は「NR」と記載する。
- ・文法(また一部の語彙)項目では、一つの質問文で2箇所の報告を求めているものがある(調査項目名にローマ字が付記されている。5. の例を参照)。このような項目においては、それぞれを分けて記録する。その際、(構文的)相互承接関係が話者からの情報として得られた場合は、そのことを注記する(相互承接が不明な場合はそれに関する注記は不要)。2箇所の項目は、それぞれが独立した項目としてデータベース化されるので、個々の項目のデータから承接関係が把握できるよう記載内容に注意する。

[例]

a. 東の方へ

ç i g a f i n o h o n i 〈 i k e のみが続く。
i n e は続かない。〉

ç i g a f i n o h o e 〈 i n e のみが続く。
i k e は続かない。〉

b. 行け

i k e 〈 ç i g a f i n o h o n i のみに続く。
ç i g a f i n o h o e には続かない。〉

i n e 〈 ç i g a f i n o h o e のみに続く。
ç i g a f i n o h o n i には続かない。〉

- ・選択肢のある項目(JL-009, JL-012 など)では回答に応じて選択肢を○で囲む。

[例] ①ゴキブリ ②植木の害虫 ③両方 ④その他 ()

- ・語形以外の情報を求める項目(JP-05-c, JL-038-b など)は、文章化して記録する。

[例] 藁で縛るまねをする。←話者からの情報であるが〈〉は不要

7. 注記の記載

- ・注記は、「誰による情報か」によって、以下のように括弧の種類で区別する。あいまいな書き方にならないようにするとともに、必ずいずれかの括弧を付与する。

話者の注記 〈 〉

調査者の注記 ()

同席者の注記 []

- ・注記の記載方法の詳細については、「付録2 注記の記載方法」に従う。

8. 話者ポイントの指定

話者ポイントがGPSで測定されない場合は以下に従う。

- ・話者ポイントの情報が、現在の住居表示(合併後の現在の住居表示)で街区(○丁目□番地)まで明確な場合は、街区まで含めて報告する。
- ・住居表示の情報が明確でない場合は、国土地理院の2万5千分の1もしくは5万分の1地形図に地点を×で記入して、本部に送付する。

9. データの報告方法

2008年度分は調査票のコピーを本部に郵送する。

2009年度以降はデータ送付での扱いを検討。

手引き

付録1 音声の表記法

語形の表記方法は、日本の方言学で通用しているブロードな IPA 表記に従う。この表記法に基づく共通語音声を下に示す。

共通語音声の表記 (IPA に基づくブロード表記)					
ア行	あ a	い i	う u	え e	お o
カ行	か k a	き k i	く k u	け k e	こ k o
ガ行 (非鼻濁音)	が g a	ぎ g i	ぐ g u	げ g e	ご g o ※g は g も可
ガ行 (鼻濁音)	が ŋ a	ぎ ŋ i	ぐ ŋ u	げ ŋ e	ご ŋ o
サ行	さ s a	し s i	す s u	せ s e	そ s o
ザ行 (摩擦音)	ざ z a	じ z i	ず z u	ぜ z e	ぞ z o
ザ行 (破擦音)	ざ d z a	じ d z i	ず d z u	ぜ d z e	ぞ d z o
タ行	た t a	ち t s i	つ t s u	て t e	と t o
ダ行	だ d a			で d e	ど d o
ナ行	な n a	に n i	ぬ n u	ね n e	の n o
ハ行	は h a	ひ ç i	ふ φ u	へ h e	ほ h o
バ行	ば b a	び b i	ぶ b u	べ b e	ぼ b o
マ行	ま m a	み m i	む m u	め m e	も m o
ヤ行	や j a		ゆ j u		よ j o
ラ行	ら r a	り r i	る r u	れ r e	ろ r o
ワ行	わ w a				
拗音	きゃ k j a		きゅ k j u		きょ k j o
	ぎゃ g j a		ぎゅ g j u		ぎょ g j o 非鼻濁音
	ぎゃ ŋ j a		ぎゅ ŋ j u		ぎょ ŋ j o 鼻濁音
	しゃ s a		しゅ s u		しょ s o
	じゃ z a		じゅ z u		じょ z o 摩擦音
	じゃ d z a		じゅ d z u		じょ d z o 破擦音
	ちゃ t s a		ちゅ t s u		ちょ t s o
	にゃ n j a		にゅ n j u		にょ n j o
	ひゃ ç a		ひゅ ç u		ひょ ç o
	びゃ b j a		びゅ b j u		びょ b j o
	みゃ m j a		みゅ m j u		みょ m j o
	りゃ r j a		りゅ r j u		りょ r j o

促音

頭の子音を重ねて表記する。例：あった a t t a, あっし a s s i

撥音

N で表記して構わない。例：おんいん o N i N, あんな a N n a

手引き

長音

長音： 例：「食うた」 kɯ : t a

共通語にない音声については、必要に応じた字母を用いて表記する。

〔例〕 ティ t i

その他の表記字母

母音

- その他の母音 æ・ɛ（半広前舌），œ（半広円唇），ɔ（開音），u（円唇）
- 中舌母音 ĩ，ũ，ẽ
- 無声化母音 i̥，ĩ，ɸ，ɸ̥
- 鼻母音（明示する場合） ã，ĩ，ũ，ẽ，õ
- 舌尖音 ɭ
- 区別記号 狭いɐ，広いɐ̃
- 半長音 ː

子音

- ガ行摩擦音 ɣ
- 合拗音 k w a，g w a，ŋ w a
- 唇歯音 f，v
- 声門閉鎖音 ʔ
- 語末閉鎖音（九州） t 〔例〕 「カッ（書く）」 k a t
- 喉頭化子音 kʰ，tʰ
- ふるえ音 r
- そり舌音 ɽ
- 有声化 k̚，t̚
- 無声化 ɱ，ɳ
- 有気 kʰ
- わたり鼻音 ˠg，ˠd

弱化 小さく上付きで表記 母音 ^{a i ɯ u e o w}，子音 ^{k g t}

データ入力時の注意事項

- データを入力する際は、国立国語研究所の方言研究室で作成し公開している外字フォントを利用する。したがって、例えば、弱化を表すのにワープロの文字飾りで小さく上付きにするような方法は行わない。
- すべて全角文字で入力する。
- アスキー文字（キーボードから直接打ち込める a i u e o k s z t d n などの通常文字）以外は外字を用いて入力する。

手引き

付録 2 注記の記載方法

注記提示者の明示

- ・話者の注記は〈 〉で括って記す。

[例] 〈隣の集落の言い方〉

- ・調査者の注記は（ ）で括って記す。

[例] （話者は新しい言い方だと言うが、古くから用いられていたはずである。）
（i で表記したがɪにも聞こえる。）

- ・同席者の加えた注記は〔 〕で括って記す。

[例] 〔ma i ma iとも言う。〕

- ・注記は必ず〈 〉（ ）〔 〕のいずれかで括って記す。

注記略号

頻度の高い注記については、以下の略号で示してよい。その場合も括弧の使い方に注意する。

#	長く考えてから答えた回答→調査者の判断なので（#）
ゆ	調査者が語形を提示して誘導した回答→調査者によるものなので（ゆ）
？	回答に迷いや疑問がある場合→話者が迷った場合は〈？〉，調査者が疑問を持つ場合は（？）
古	古い表現→以下についても話者の判断は〈 〉で，調査者の判断は（ ）で括る。
新	新しい表現
多	使うことが多い。
少	使うことが少ない。
上	ていねいな表現
下	ぞんざいな表現
共	共通語的表現

注記略号は組み合わせて記すことができる。

例 （#，ゆ）→長く考え，調査者が語形を誘導した回答

〈古，下〉→古く，かつ，ぞんざいな表現であると話者が判断した回答

注記記載上の注意事項

- ・発音の聞こえ方に関する注記は，調査者の注記なので（ ）内に記載する。

[例] （e n n a k aのeはやや狭く聞こえる。）

- ・ただし，話者自身が発音に関して注記を与えた場合は〈 〉内に記載する。

[例] 〈e n n a k aのeはiとeの中間音で発音する。〉

- ・併用語形に関する注記は，別の語形のところに記載せず，個々の語形に記載する（個別の語形ごとにデータベース化されるため，併用語形に与えた注記は参照されにくくなる）。

[例] e n n a k a 〈古〉

e r e n a k a 〈古，下〉

→×e n n n a k a 〈e n n n a k aもe r e n a k aも古〉

×e r e n a k a 〈下〉

手引き

- 併用語形の繰り返された注記は「*ㇿ*」で略記してよい（ただし、入力時は*ㇿ*を使わない）。
[例] *e n n a k a* 〈古〉
e r e n a k a 〈*ㇿ*〉 → 入力時は〈古〉と入力。
- 話者自身が使う（あるいは使った経験がある）か、話者自身が使わない（あるいは使った経験がない）かの区別は、重要である。今は使わない昔の当該地のことばや、話者自身が使わない他人のことばなどは、下記の例を参考にして、注記として括弧の中に記載する。
[例] 古い言い方で話者自身は使った経験がない場合
→ 〈*e n n a k a* は、昔、祖父が使っていたが、自分は使ったことがない。〉
聞いたことはあるが、話者自身は使った経験がない場合
→ 〈*e n n a k a* という人もいるが、自分は使ったことがない。〉
話者から回答されない語形を調査者が知っていてその情報を提示したい場合
→ 〈この他に *e n n a k a* という語形があるはずである。〉
- 複雑な注記は文章化する。
[例] 〈古い言い方で子供時代に使ったが、今は使わない。〉
(同席者が誘導した回答)
- 注記略号と文章化した注記を組み合わせで記しても良い。
例 〈古、子供の頃よく使っていた。〉

音韻項目

※括弧の使い方 〈話者の注記〉, (調査者の注記), [同席者の注記]

※調査を始める前に, ○話者自身がくつろいだときや, ごく親しい人と話すときに使う, 土地のことばについての調査である。したがって, 今は使わない昔の人のことばや, 話者自身が使わない他の人のことばなどは, そのむね注記を付けること。

ここでは, 発音についておうかがいしますが, ○○(話者の名前)さんが, 自分自身で, 地元の親しい友達と話すときの言い方を教えてください。

※録音をとる場合, 備忘録のためであるむね, ひとこと断りを入れること。

JP-01 鏡：ガ行鼻濁音

(絵) 顔をうつすための, こういうものを何と言いますか。#LAJ1-1

JP-02 火事：合拗音

家に火がついてぼうっと燃えたとします。「何だ(じゃ・や)！」と言いますか。#LAJ1-3

JP-03 元日・元旦：合拗音

一年の最初の日を何と言いますか。一年の最初の日。※「元日」「元旦」のいずれでも構わない。#LAJ1-5 改

JP-04 正月：合拗音

一年の最初の月のことですが, そのお休みやお祝いのことも合わせて何と言いますか。○お休みとか, ○○気分とか言います。#LAJ1-6 改

JP-05 寿司・煤：シ・ス

a. (絵) 酢飯の上に生魚をのせた食べ物は何と言いますか。

b. ランプや煙突にたまる黒い物は, 何と言いますか。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

JP-06 汗：口蓋化

暑い時に、からだから流れ出る水のようなものを何と言いますか。 #LAJ1-8

JP-07 背中：口蓋化

ここの広い所（身振りで示す）を何と言いますか。 #LAJ1-7

JP-08 富士（フジ）・藤（フヂ）：四つ仮名

a. (絵) 日本で一番高い山は。

b. (絵) 夏のはじめに咲く花で、棚にして鑑賞します。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

JP-09 鈴（スズ）：四つ仮名

猫の首に付ける物は何と言いますか。振るとちりんちりと音がします。

JP-10 水（ミヅ）：四つ仮名

水道の栓をひねると出てくるものは何と言いますか。

JP-11 知事（チジ）・地図（チヅ）：一つ仮名

a. 都道府県で一番偉い人を何と言いますか。こちらの都道府県で言えば〇〇さん(知事の名前)のことです。

b. (絵) 旅先で道が分からないときに見るものを何と言いますか。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

JP-12 白い・広い：シ・ヒ

a. 黒いの反対は何と言いますか。

b. 狭いの反対は何と言いますか。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

JP-13 胃・絵：イ・エ

a. (絵) 食べた物がたまるところです。腸の上にあります。

b. (絵) 壁に飾る物です。写真ではなく、子供が図工の時間に紙に描くのは。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

※括弧の使い方 〈話者の注記〉, (調査者の注記), [同席者の注記]

JP-14 楊枝（開音）・用事（閉音）：開合

a. 食事の後，歯の間の食べかすを取り除くのに使う木でできた細い物を何と言いますか。

b. 用事を思い出したと言う時の「用事」を発音してみてください。

c. 今の二つの発音は同じですか。違いますか。

語彙項目

※括弧の使い方 〈話者の注記〉, (調査者の注記), [同席者の注記]

※調査を始める前に, ○話者自身がくつろいだときや, ごく親しい人と話すときに使う, 土地のことばについての調査である。したがって, 今は使わない昔の人のことばや, 話者自身が使わない他の人のことばなどは, そのむね注記を付けること。

※質問文で〔 〕を付した箇所は, 別項目で得られた方言語形に置き換えて尋ねる。

○○(話者の名前)さんが, 自分自身で, 地元の親しい友達と話すときの言い方を教えて下さい。

※録音をとる場合, 備忘録のためであるむね, ひとこと断りを入れること。

虫などの生き物の呼び方について教えて下さい。

JL-001 かたつむり (蝸牛)

(絵) これを何と言いますか。からを背負ってのろのろとはって歩きます。夏, ことに雨のころ多く見掛けます。#LAJ5-236・237・238

JL-002 なめくじ (蛞蝓)

(絵) これを何と言いますか。[かたつむり]に似ているけれど, からは背負っていない。暗いじめじめした所に住んでいます。塩をかけると体が溶けるといいますが。#LAJ5-239

JL-003 かまきりむし (蟷螂虫)

(絵) こういう虫を何と言いますか。前足が草を刈るかまに似ています。おこるとそれを振り立てて向かってきます。色は緑とか茶色など。#LAJ5-229・230

JL-004 とんぼ (蜻蛉)

(絵) いろいろの種類がありますが, こういう虫をひっくるめて何と言いますか。#LAJ5-231

JL-005 ぼうふら（蚊の幼虫）

水たまりなどにすんでいる蚊の幼虫を何と言いますか。

JL-006 <蚊に>さされる

蚊に血を吸われることを, ササレルと言いますか, クワレルと言いますか, それとも別の言い方をしますか。※「蚊に」の部分も含めて記録する。

JL-007 かぶとむし

(絵) オスとメスで形が違うようですが, こういう虫をひっくるめて何と言いますか。※総称を求める。

JL-008 くわがたむし

(絵) いろいろな種類がいて, オスとメスでも形が違うようですが, こういう虫をひっくるめて何と言いますか。※総称を求める。

JL-009 アブラムシ

アブラムシと言った場合, どんな虫のことを指して言いますか。いわゆるゴキブリでしょうか。それとも植木に付く小さな害虫のことでしょうか。

①ゴキブリ ②植木の害虫 ③両方 ④その他()

※括弧の使い方 〈話者の注記〉, (調査者の注記), [同席者の注記]

JL-010 とかげ（蜥蜴）

(絵) これは何と言いますか。長さは5寸(15センチメートル) ぐらい。ひなたの土の上をちょろちょろ走り回ります。色は黒くてつやつや光って、鮮かな青い線があります。水の中には入りません。※いもり・やもりなどと間違えないよう。#LAJ5-224

JL-011 かなへび (金蛇)

〔とかげ〕と形は似ているけれど、色が土色のがいます。やはり昼間見かけるもので、水の中には入りません。何と言いますか。※いもり・やもりとは違う。#LAJ5-225

JL-012 <牛馬の>ひかがみ（膝の裏側）

a. (絵)牛や馬の膝(ひざ)の裏側を何と言いますか。※「牛・馬の」にあたる部分が回答された場合、それも含めて記録する。牛・馬で異なると報告された場合は注記する。

b. 牛や馬を飼っていた経験はありますか。

①ある ない

c. [＜牛馬の＞ひかがみ]を汚れたままにしておいてはいけないといったことを聞いたことはありますか。

①ある

(理由が報告された場合その内容を記載→)

②ない

※括弧の使い方 〈話者の注記〉, (調査者の注記), [同席者の注記]

JL-013 うろこ (鱗)

(絵) 魚の皮の上に並んでいるすきとおった薄い爪のようなもの, これを何と言いますか。

#LAJ5-217

JL-014 <蟹の>こうら (甲羅)

蟹 (かに) の甲羅 (こうら) のことを何と言いますか。※「蟹の」にあたる部分が回答された場合, それも含めて記録する。

JL-015 ぶり (鰯)

(絵) この魚はブリ (鰯) です。出世魚と呼ばれ, 大きくなるにつれて名前が変わると言われますが, どんな名前と呼んでいますか。※下のメモ欄に一旦記入した上で整理し, 幼魚を左側, 成魚を右側に配列し, 「○段階××・△△・□□」のように段階数とともに報告する。段階順が不明な場合は「××・△△」のように名称のみ列挙し〈段階不明〉と注記を付ける。

幼魚←—————→成魚

-----下にメモをとり, 整理して上に記入-----

次は、植物や食べ物などの言い方について教えてください。

JL-016 つくし（土筆）

（絵）これは何と言いますか。春先、川の土手などの日当りのよいところに出てきます。

#LAJ5-244

JL-017 すぎな（杉菜・間荊）

（絵）〔つくし（土筆）〕が出たあとから、こういう草が生えてきます。何と言いますか。

#LAJ5-243

JL-018 ほうせんか（鳳仙花）

a. （絵）この植物を何と言いますか。実にさわるとはじけます。花は赤やピンク色のものが多いのですが。共通語ではハウセンカと呼ばれます。

b. 〔ほうせんか〕の花でつめを染める遊びはありませんでしたか。

①ある ②ない

JL-019 ひがんばんな（彼岸花）

a. （絵）秋に真っ赤な色で咲くこのような植物を何と言いますか。

b. 〔ひがんばんな〕の語源について何かご存じですか。

c. 昔、この地域で食べ物に困ったときに〔ひがんばんな〕の根っこを食べたといった話は聞いたことがありますか。

①ある ②ない

JL-020 まつかさ（松毬）

（絵）松にできるものですが，これを何と言いますか。 #LAJ5-247 改

JL-021 きのこ（茸・蕈）

（絵）まつたけやしいたけなど，そのほか毒のあるものもありますが，こういうものをひっくるめて何と言いますか。※きのこの総称を求める。 #LAJ5-245

JL-022 <柿の>へた（蒂）

果物の柿のへたの部分を何と言いますか。※「柿の」にあたる部分が回答された場合，それも含めて記録する。

JL-023 じゃがいも（馬鈴薯）

（絵）こういう芋を何と言いますか。夏の初めと秋と一年に二度とれます。※品種が多いが，総称を求める。 #LAJ4-174・175

JL-024 さつまいも（甘藷）

（絵）これは何と言いますか。秋の終りに取り入れます。茎はつるになって地面に広がります。 #LAJ4-176

JL-025 さといも（里芋）

（絵）これは何と言いますか。茶色の毛が生えていて，皮をむくとぬるぬるします。いろいろの種類があつて茎の食べられるものもありますが，ひっくるめて何と言いますか。※品種が多いが，総称を求める。 #LAJ4-177・178 改

JL-026 やまいも（山芋）

すりおろしてねばりの出たものをご飯やそばなどにのせて食べる細長い芋を何と言いますか。いろいろの種類がありますが、ひっくるめて何と言いますか。※調理名ではなく、素材となる「山芋」の名称を聞き出すこと。なお、芋汁・芋粥など調理名が話題になった場合は、注記として記録する。

JL-027 イモの意味

このあたりで普通「いも」と言ったら、どの芋（[じゃがいも] [さつまいも] [さといも] [やまいも]）のことを言いますか。芋が食べたいと言ったらどの芋のことですか。 # LAJ4-179 改

- ① [じゃがいも] ② [さつまいも] ③ [さといも] ④ [やまいも]
⑤その他()

JL-028 とうもろこし（玉蜀黍）

（絵）これは何と言いますか。夏の終わりごろとれます。薄緑色の皮があって赤い毛のふさがついています。※品種が多いが、総称を求める。 # LAJ4-182

JL-029 かぼちゃ（南瓜）

（絵）これを何と言いますか。夏にとれる、つるになる大きな実です。 # LAJ4-180 改

JL-030 うるち（粳米）

米のうち、ふだんの食事用のものをもちや赤飯用にするものと区別して、何と言いますか。 # LAJ4-168

※括弧の使い方 〈話者の注記〉, (調査者の注記), [同席者の注記]

JL-031 たく（炊く）

米をおかまに入れてから火にかけてご飯にする。こうすることをご飯をどうすると言いますか。#LAJ2-57 改

JL-032 にる（煮る）

大根をなべに入れて、みそやしょうゆを加えて火にかける。こうすることを、大根をどうすると言いますか。#LAJ2-58 改

JL-033 まないた（俎板）

（絵）これを何と言いますか。野菜や魚を料理するときに使う板です。※野菜用と魚用の区別がある場合はいずれもとりあげて注記を付けるとともに、総称も聞き注記を付ける。
#LAJ4-164 改

JL-034 せともの（陶磁器）

（絵）こういう土（どろ）で作ってかまで焼いたもの、いろいろありますが、ひっくるめて何と言いますか。#LAJ4-161

JL-035 ひきにく・ミンチ

肉を細かくしたもので、ハンバーグなどの材料にするものを何と言いますか。※牛肉・豚肉・鶏肉など肉の種類で区別がある場合は注記するとともに、総称も尋ねて注記する。

続けて、人の身体の呼び方を教えて下さい。

JL-036 ふけ（雲脂）

頭をかくと白い粉のようなものが落ちてくることがあります。その白いもののことを何と言いますか。 #LAJ3-105

JL-037 あか（垢）

長いこと体を洗わないでいて体をこすると、汚いものがぼろぼろと落ちます。この汚いもののことを何と言いますか。※垢の特殊な状態（こびりついた垢など）についての名には注記。 #LAJ3-131

JL-038 ものもらい（麦粒腫）

a. (絵) まぶたのへりにぷつつとできる小さなできものです。何と言いますか。うみを持って赤くはれると、むずむずしてかゆいのですが、間もなく直ります。※類似のできもの・眼病とまちがえないよう注意。 #LAJ3-112

b. [ものもらい] はどうすれば治ると言いましたか。おなじないや言い伝えなどがあれば教えて下さい。※物をもらってきて食べる・患部を縛るまねをする等

JL-039 した（舌）

(絵) これを何と言いますか。※舌先などの部分ではない。 #LAJ3-117

JL-040 みずおち（鳩尾）

（絵）胸の骨の下の中あたり，柔らかいこのあたりのことを何と言いますか。※胃とか肝臓など内臓に関する回答はとりあげない。#LAJ3-130

JL-041 なかゆび（中指）

（絵）この指は何と言いますか。#LAJ3-123

JL-042 くるぶし（踝）

（絵）このところを何と言いますか。※内くるぶしと外くるぶしとの違いがあれば注記，その際には総称も聞き出して注記する。#LAJ3-128 改

JL-043 かかと（踵）

（絵）足のこのへんのことを何と言いますか。#LAJ3-129

JL-044 ほくろ（黒子）

体に黒いごまつぶぐらいの点のあることがありますが，その点のことを何と言いますか。
※大きさや形状（ふくらみがある等）の違いにより複数の語形が使い分けると報告された場合は注記を付ける。また，そばかすやにきびなどと間違えないよう。#LAJ3-133・134 改

JL-045 あざ（痣）（内出血）

身体をどこかにぶつけたときなどに、そこが青黒くなって、しばらく跡が残ることがあります。そういうふうに変った所のことを何と言いますか。※身体上の場所の名称を尋ねる。「～になる」「～する」など動詞形しかない場合はその語形を記録し、「動詞形のみ」のように注記を付ける。 #LAJ2-80 改

JL-046 あざ（痣）（生得）

生まれつき体の一部の色が変わって、大人になるまで赤かったり青黒かったりしていることがあります。そのいつまでも消えない色の変った所のことを何と言いますか。※大きさ・位置・色などによる使い分けがあれば注記のうえ、総称も別に聞き、注記を付ける。 #LAJ3-132 改

JL-047 あざ（痣）（蒙古斑）

生まれたばかりの赤ちゃんの背中からお尻にかけて、青くなっている所のことを何と言いますか。

JL-048 かさぶた

すりむくなどのけがをした後に血が固まったものを何と言いますか。

JL-049 しもやけ（凍傷）

手の指や足の指などが、冬、寒さのために赤くはれてかゆくなったり、ひどくなるとくずれたりすることがあります。そんなときどうなった、何ができたと言いますか。※ひび・あかぎれ（皮膚の裂けるもの）とは違う。凍傷のこと。#LAJ3-127

JL-050 ゆきやけ（雪焼け）

スキーなどに行き、晴れた雪原に長時間いたために、顔が黒くなることを何と言いますか。

続けて、動作の言い方を教えて下さい。

JL-051 （服を）きる・はく・かぶる・はめる

服を身につけることを、服をどうすると言いますか。

JL-052 （靴を）きる・はく・かぶる・はめる

a. 靴を身につけることを、靴をどうすると言いますか。

b. 靴下を身につけることを、靴下をどうすると言いますか。

JL-053 （帽子を）きる・はく・かぶる・はめる

帽子を身につけることを、帽子をどうすると言いますか。

JL-054 （手袋を）きる・はく・かぶる・はめる

手袋や軍手を身につけることを、手袋や軍手をどうすると言いますか。

JL-055 おんぶする（幼児を負う）

（絵）赤ん坊をこうすることを，どうすると言いますか。 #LAJ2-64

JL-056 しょう（包みを背負う）

（絵）荷物をこうすることを，どうすると言いますか。※両肩で風呂敷包みを～。 #LAJ2-65

JL-057 かつぐ（片方の肩で包を担ぐ）

（絵）こうすることは，どうすると言いますか。※片方の肩で風呂敷包みを～。 #LAJ6-394

JL-058 かつぐ（材木を担ぐ）

（絵）こうすることは，どうすると言いますか。※材木を～。 #LAJ2-66

JL-059 かつぐ（天秤棒を担ぐ）

（絵）これはどうすると言いますか。※てんびん棒を～。 #LAJ2-67

JL-060 かつぐ（二人で担ぐ）

（絵）これは，どうすると言いますか。※二人で～。 #LAJ2-68

JL-061 はこぶ（運ぶ）

掃除のために教室などを片付けるときに，二人で机の両側を持ち上げて運ぶことを，机をどうすると言いますか。

JL-062 すてる（捨てる）

いらなくなったものを, ごみ箱にどうすると言いますか。 #LAJ2-62 改

JL-063 なげる（投げる）

キャッチボールをするとき相手にボールをどうすると言いますか。

JL-064 いく・くる（行く・来る）

玄関先から友達に声を掛けられたとき, その友達に, 自分は今すぐイクと言いますか, それとも自分は今すぐクルと言いますか。それとも別の言い方をしますか。

JL-065 あぐら（胡座）をかく

(絵) こういうふうに足を組んで座につくことを, どうすると言いますか。※動詞形を求める。 #LAJ2-52 改

家の中の場所や道具の呼び方などについて教えて下さい。

JL-066 ふすま（襖障子）

(絵) 部屋と部屋との境にする, こういう紙を張った引き戸を何と言いますか。 #LAJ4-192

JL-067 いど（井戸）

- a. 地面に深い穴を掘って、つるべやポンプで飲み水などを汲み出す所があります。それを何と言いますか。底に水がわいてきます。※特殊な構造のものについては注記。 # LAJ4-197

- b. この地域にこのような物がありましたか。

【a. で語形が回答された場合】

①あった。 ④なかった。

【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは、話者の様子で判断する。】

②あったが名前を忘れた。 ③あったが名前を知らない。 ④なかった。

JL-068 いろり（囲炉裏）

- a. (絵) 家の中にあって、火をたくこのような場所を何と言いますか。

- b. この地域にこのような物がありましたか。

【a. で語形が回答された場合】

①あった。 ④なかった。

【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは、話者の様子で判断する。】

②あったが名前を忘れた。 ③あったが名前を知らない。 ④なかった。

- c. (a. で語形が回答され場合) [いろり] を使った生活の経験はありますか。

①ある ②ない

- d. (c. で①の場合) [いろり] は煮炊きに使いましたか、それとも暖をとるために使いましたか。※「その他」としては、「ぬれた物を乾かす」などもあるが、話者が積極的に報告した場合のみ記録する。

①煮炊き ②暖をとる ③煮炊きと暖をとるの両方 ④その他 ()

JL-069 かまど（竈）

a. (絵) 煮炊きに使うこのような場所を何と言いますか。

b. この地域にこのような物がありましたか。

【a. で語形が回答された場合】

①あった。 ④なかった。

【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは、話者の様子で判断する。】

②あったが名前を忘れた。 ③あったが名前を知らない。 ④なかった。

JL-070 しちりん（七輪）

a. (絵) やかんで湯を沸かすとき、こんなものに火をおこしたと思います。こんなふう
土で作った、持ち運びのできるものを何と言いますか。

b. この地域にこのような物がありましたか。

【a. で語形が回答された場合】

①あった。 ④なかった。

【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは、話者の様子で判断する。】

②あったが名前を忘れた。 ③あったが名前を知らない。 ④なかった。

JL-071 からさお（穀棹・唐棹）

a. (絵) 麦や豆を脱穀するのには、こんなものを使ったようです。これをふり回し、ムシ
ロの上の麦や豆をたたいて、からと実を分ける道具です。これを何と言いますか。

b. この地域にこのような物がありましたか。

【a. で語形が回答された場合】

①あった。 ④なかった。

【a. で無回答の場合※②の「忘れた」か③の「知らない」かは、話者の様子で判断する。】

②あったが名前を忘れた。 ③あったが名前を知らない。 ④なかった。

※括弧の使い方 〈話者の注記〉, (調査者の注記), [同席者の注記]

JL-072 つらら（氷柱）

（絵）冬のようですが，軒先などにさがる氷の棒です。これを何と言いますか。#LAJ6-262

JL-073 けむり（煙）

（絵）こういうふうに，煙突から出るものを何と言いますか。#LAJ6-365

JL-074 じてんしゃ（自転車）

（絵）このような自分でこぐ乗り物を何と言いますか。いろいろな種類のものがありますが，ひっくるめて何と言いますか。

JL-075 じょうぎ（定規）

（絵）このような長さをはかる道具を何と言いますか。竹やプラスチックできたかたいものです。※材質で名称が異なる場合は注記する。

JL-076 こくばんけし（黒板消し）

（絵）学校や公民館にあるもので，黒板にチョークで書いた字を消すのに使うこのような道具を何と言いますか。

次に，親族などの言い方を教えて下さい。

JL-077 まご（孫）

子供の子供は何と言いますか。

JL-078 ひまご（曾孫）

〔孫〕の子供は何と言いますか。#LAJ3-139

JL-079 ちょうなん（長男）

男のきょうだいの一番年上の人のことを何と言いますか。※呼称ではなく、親族名称を尋ねる。

★文法項目 JG-075 に「長男」の語形を転記メモする。

JL-080 じなんいか（次男以下）

男のきょうだいの二番目から下の人をまとめて何と言いますか。※呼称ではなく、親族名称を尋ねる。また、次男・三男など特定のきょうだいがある場合は注記を付けた上で、総称を求めて注記を付ける。

★文法項目 JG-076 に「次男以下」の語形を転記メモする。

JL-081 ちょうじょ（長女）

女のきょうだいの一番年上の人を何と言いますか。※呼称ではなく、親族名称を尋ねる。

JL-082 じじょいか（次女以下）

女のきょうだいの二番目から下の人をまとめて何と言いますか。※呼称ではなく、親族名称を尋ねる。また、次女・三女など特定のきょうだいがある場合は注記を付けた上で、総称を求めて注記を付ける。

JL-083 ほんけ（本家）

例えば,「〇〇：話者の名字」家の一番中心になる血筋の家のことを何と言いますか。

JL-084 ぶんけ（分家）

a. [本家] から分かれた家のことを何と言いますか。

b. 「〇〇：話者の名字」さん御自身は [本家] [分家] のどちらに該当しますか。

① [本家] ② [分家] ③ 分からない ④ その他 ()

c. [本家] と [分家] の間に上下関係の意識はありますか。※上下とは別に区別の認識が報告された場合は④に記載する。

① ある (本家が上) ② ある (分家が上) ③ ない

④ その他 ()

★文法項目 JG-157 に「本家」もしくは「分家」の語形を転記メモする。

続けて, 気持ちなどを表す場合の言い方について教えて下さい。

JL-085 おそろしい（恐ろしい）

大きな犬が何匹もほえかかって, いまにもかみつきそうになる。そんなときの感じをどんなだと言いますか。 #LAJ1-42

★文法項目 JG-187b に「怖ろしい」の語形を転記メモする。

JL-086 びっくりする（驚く）

急にうしろから大きな声をかけられてドキンとすることをどうすると言いますか。 #LAJ2-77

JL-087 とても（程度副詞）おもしろい

あの人の話はとても面白いと言うとき,「とても面白い」のところをどのように言いますか。

※a. 「とても」と b. 「面白い」を分けて記録する。

a. とても

b. 面白い

JL-088 ぜんぜん（陳述副詞）おもしろくない

あの人の話はぜんぜん面白くないと言うとき,「ぜんぜん面白くない」のところをどのように言いますか。 ※a. 「ぜんぜん」と b. 「面白くない」を分けて記録する。

a. ぜんぜん

b. 面白くない

JL-089 おおきい（大きい）

(絵) 二つの箱ですが, 両方を比べて (大きい方をさし) こちらのほうが (小さい方をさし) こちらよりもどうだと言いますか。 ※非常に大きいことを表す形には注記。 #LAJ1-17・18・19

JL-090 ちいさい（小さい）

(絵) それでは (小さい方をさし) こちらは (大きい方をさし) こちらよりもどうだと言いますか。 ※非常に小さいことを表す形には注記。 #LAJ1-22・23

JL-091 ふとい（太い）

(絵) 二本の棒があります。長さは同じですが, 両方を比べて (太い方をさし) こちらのほうが (細い方をさし) こちらに比べてどうだと言いますか。 ※非常に太いことを表す形には注記。 #LAJ1-20

JL-092 ほそい（細い）

（絵） それでは（細い方をさし）こちらの方が（太い方をさし）こちらよりもどうだと言いますか。 ※非常に細いことを表す形には注記。 #LAJ1-24

JL-093 あらい（粗い）

（絵） 二つのふるいがあります。大きさは同じですが、ただ網の目が違います。両方を比べたとき（あらい方をさし）こちらの目は（細かい方をさし）こちらの目よりもどうだと言いますか。 ※非常に粗いことを表す形には注記。 #LAJ1-21

JL-094 こまかい（細かい）

（絵） それでは（細かい方をさし）こちらの目は（あらい方をさし）こちらの目よりもどうだと言いますか。 ※非常に細かいことを表す形には注記。 #LAJ1-25

次は、味の表し方を教えて下さい。

JL-095 しおからい（塩からい）

塩の味はどんなだと言いますか。薬は「苦い」など言いますが、そんな言い方で言うと塩は……。 #LAJ1-39

JL-096 からい（辛い）

唐辛子の味はどんなだと言いますか。 #LAJ1-40

JL-097 すっぱい(酸っぱい)(梅干しの味)

梅干しの味はどんなだと言いますか。 #LAJ1-41 改

JL-098 すっぱい(酸っぱい)(レモンの味)

レモンの味はどんなだと言いますか。

JL-099 あまい(甘い)

砂糖の味はどんなだと言いますか。 #LAJ1-37

JL-100 <塩味が>うすい

しる(つゆ)などを作ったとき塩の味の足りないの言うのに, しる(つゆ)の味がどんなだと言いますか。 #LAJ1-38

JL-101 おいしい(美味しい)

味の良い食べものを食べて,「ああオイシイ」と言いますか。「ああウマイ」と言いますか。それとも別の言い方をしますか。 #LAJ6-291

JL-102 <味が>まずい

それでは「美味しい」の反対は何と言いますか。

子供の遊びの言い方などについて、教えて下さい。

JL-103 おてだまあそび（お手玉遊び）

（絵）女の子の遊びです。何と言う遊びですか。この子どもは何をして遊んでいると言ったらよいでしょう。遊ぶ時に使う小さな袋には、あずきや小石などを入れて作ります。※遊びの名称を聞き出す。遊びと道具の名称が違うことが報告された場合は〈遊びの名称〉〈道具の名称〉のように注記を付ける。#LAJ3-145・146 改

JL-104 おはじき

おもに女の子の遊びで、ガラスなどでできている丸くて薄いものを指ではじいて遊ぶ道具を何と言いますか。※道具の名称を聞き出す。道具と遊びの名称が異なることが報告された場合は、〈道具の名称〉〈遊びの名称〉のように注記を付ける。

JL-105 かたあしとび（片足跳び）をする

（絵）こういうふうに片方の足だけで飛ぶことを何をする、どうすると言いますか。※「片脚跳びをする」にあたる動詞形が出ない場合は、別に片脚跳びに対する名詞も聞いてみる。なお、石蹴りや二人で倒し合う遊びの名とは違う。ただ、ピョンピョンと跳ぶこと。#LAJ2-54・55

JL-106 めんこ（面子）

おもに男の子の遊びで、力士や役者などの絵が描かれた紙を地面でたたきつけあい、裏返すなどして遊ぶ道具を何と言いますか。土地によってはメンコと呼ばれたりするものです。※道具の名称を聞き出す。道具と遊びの名称が異なることが報告された場合は、〈道具の名称〉〈遊びの名称〉のように注記を付ける。

JL-107 かたぐるま (肩車)

(絵) こういうふうに, こどもを首にまたがらせて肩に乗せることを何と言いますか。※
「肩車」にあたる名詞形を聞き出す。名詞形がない場合は, 動詞形も聞いてみる。#
LAJ3-149・150

JL-108 ふろ (風呂) <児童語>

風呂のことを孫など幼い子供に言う場合, 何と言いますか。例えば, 「もう風呂に入ったか」
「早く風呂に入れ」などと言う場合です。

JL-109 かみ・ほとけ (神・仏) <児童語>

神様や仏様のことを孫など幼い子供に言う場合, 何と言いますか。例えば, 「神様に水をあげろ」「仏様に手を合わせろ」などと言う場合です。

JL-110 かっぱ (河童)

a. 川や池に住むと言われる架空の生き物で, 水の中に人を引き込むといった昔話に出てくるものを何と言いますか。

b. この地域では「かっぱ」はどのような姿をしていると言われていていますか。(頭に皿がある, 甲羅がある, 手が抜けるなど) ※地域に「かっぱ」の伝承がない場合は, NR とする。

次は, 日にちの言い方や物の数え方などについて教えて下さい。

JL-111 おととい (一昨日)

きのうの前の日のことは何と言いますか。 #LAJ6-276

JL-112 さきおととい (一昨々日)

[おととい] の前の日のことは何と言いますか。 #LAJ6-275

JL-113 しあさって (明明後日)

あさっての次の日のことは何と言いますか。 #LAJ6-285

JL-114 やのあさって (明明明後日)

[しあさって] の次の日のことは何と言いますか。 #LAJ6-286

JL-115 いくつ (個数)

物の数を尋ねるときには何と言いますか。箱の中にある物の数を尋ねるとき「この中にまんじゅうが～」それから何と言いますか。※「何個」などと答えた場合は, あらたまった言い方ではないか確かめること。 #LAJ1-49

JL-116 いくつ (何歳)

人の年齢を尋ねるとき, 何と言って聞きますか。「年は～」それから何と言いますか。※「何歳」などと答えた場合は, あらたまった言い方ではないか確かめること。 #LAJ6-293

JL-117 いくら (値段)

物の値段を尋ねるときには何と言いますか。「このまんじゅうはひとつ～」それから何と言いますか。※「何円」などと答えた場合は, あらたまった言い方ではないか確かめること。
#LAJ1-50 改

JL-118 かぞえる (数える)

たとえば鉛筆なら鉛筆を、一本二本と (手つきを示す) 調べることをどうすると言いますか。※「調べる」「確かめる」などはとらない。また、お金の場合は別の言い方をすると報告された場合は注記を付ける。 #LAJ2-69 改・6-296 改

次は、天気や気候のことなどについて教えて下さい。

JL-119 つゆ (梅雨)

夏の初めごろ雨の長く降り続く時期があります。その雨の時期のことを何と言いますか。※時期ではなく、その時期に降る雨であることが報告された場合は注記を付ける。 #LAJ6-254 改

JL-120 じしん (地震)

地面が急にぐらぐらっと揺れて、ひどいときには大木や家が倒れたりすることがあります。その地面の揺れること、それを何と言いますか。 #LAJ6-263

JL-121 やま (山)

材木のための木を植えて育てる場所のことを何と言いますか。※この項目で求めているのは、共通語の「山」と同じではない。生活の中での実感が伴わない様子であれば、そのことを注記で記す。

JL-122 もり (森)

お宮の境内などがあって、木が一か所に集ってこんもりと生えている場所のことを何と言いますか。※この項目で求めているのは、共通語の「森」と同じではない。生活の中での実感が伴わない様子であれば、そのことを注記で記す。 #LAJ4-198 改

※括弧の使い方 〈話者の注記〉, (調査者の注記), [同席者の注記]

JL-123 はやし (林)

木がたくさん生えていて、たきぎを拾ったり〔きのこ〕や山菜を採る場所のことを何と言いますか。※この項目で求めているのは、共通語の「林」と同じではない。生活の中での実感が伴わない様子であれば、そのことを注記で記す。#LAJ4-199 改

JL-124 たいよう (太陽)

朝東の方から出て、夕方西の方に沈む、昼間空に輝いているものを何と言いますか。※特別の敬称や児童語には注記。#LAJ6-251 改

★文法項目 JG-180 に「太陽」の語形を転記メモする。

★文法項目への回答語形の転記メモを忘れないこと (□にチェック)。

☐ JL-079→JG-075

☐ JL-080→JG-076

☐ JL-083・084→JG-157

☐ JL-085→JG-187b

☐ JL-124→JG-180

文法項目

文法項目には、語彙項目の結果を利用するものが含まれている。具体的には、以下の語彙項目の回答語形を各文法項目の質問文に転記メモしておくことが必要である。

JL-079→JG-075

JL-080→JG-076

JL-083・084→JG-157

JL-085→JG-187b

JL-124→JG-180

したがって、文法項目を調査するにあたっては、事前にこれらの語彙項目の結果を得ておくことが求められる。

※調査を始める前に、○待遇項目などで場面が設定されているものを除き、話者自身がくつろいだときや、ごく親しい人と話すときに使う、土地のことばについての調査である。したがって、今は使わない昔の人のことばや、話者自身が使わない他の人のことばなどは、そのむね注記を付けること。

※質問文に下線が付されている場合は、下線の部分に該当する箇所のみ記録する。

これからさまざまな言い回しについておうかがいしますが、○○(話者の名前)さんが、自分自身で、地元の親しい友達と話すときの言い方を教えて下さい。

※録音をとる場合、備忘録のためであるむね、ひとこと断りを入れること。

※動作主体が明示されていない項目においては、動作主体は話者自身として扱う。

・活用(動詞)

上二段：起きる

JG-001 起きる(終止形)

「朝早く 起きる 」と言うときの「起きる」のところは、地方によって、オキル・オクルなど、いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。 #GAJ2-61

JG-002 起きる人(連体形)

「朝早く 起きる人 」と言うときの「起きる人」のところはどうですか。※「人」の部分も含めて記録する。「早起き」などはとらない。

JG-003 起きない(否定形)

「八時になってもまだ 起きない 」と言うときの「起きない」のところは、地方によってオキネー・オキン・オキランなど、いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。 #GAJ2-72

JG-004 a. 五時に (格助詞-時間), b. 起きた (過去形)

「けさは, a 五時に b 起きた 」と言うときの「五時に起きた」のところはどのように言いますか。

a. 五時に

b. 起きた

JG-005 起きれば (仮定形)

「もっと早く 起きれば 良かった」言うときの「起きれば」のところはどのように言いますか。 #GAJ3-126

JG-006 起きろ (命令形)

「ぐずぐずしないで早く 起きろ 」言うときの「起きろ」のところは, 地方によって, オキロ・オキレ・オキヨなど, いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。 #GAJ2-85

下二段: 開ける

JG-007 開ける (終止形)

「窓を あける 」言うときの「あける」はどうですか。 #GAJ2-64

JG-008 開けない (否定形)

「寒いから窓を あけない 」言うときの「あけない」はどうですか。 #GAJ2-77

JG-009 開けた (過去形・音韻 JP-19 タ行子音有声化)

「窓を あけた 」言うときの「あけた」はどうですか。

JG-010 a. 窓を (格助詞-非情物), b. 開けろ (命令形)

「a 窓を b あけろ」と言うときの「窓をあけろ」はどのように言いますか。 #a:GAJ1-6
改, b:GAJ2-87 改

a. 窓を

b. あけろ

下二段：寝る

JG-011 寝る (終止形)

「早く 寝る」と言うときの「寝る」はどうですか。 #GAJ2-66

JG-012 寝ない (否定形)

「十二時になってもまだ 寝ない」と言うときの「寝ない」はどうですか。 #GAJ2-79

JG-013 a. 座布団で (音韻 JP-20 ザダ交替), b. 寝た (過去形)

「昨日は a 座布団で b 寝た」と言うときの「座布団で寝た」はどのように言いますか。

a. 座布団で

b. 寝た

JG-014 寝ろ (命令形)

「早く 寝ろ」と言うときの「寝ろ」はどうですか。

上二段：見る

JG-015 見る (終止形)

「夜はいつもテレビを 見る」と言うときの「見る」はどうですか。

JG-016 見た (過去形)

「きのうテレビを 見た 」と言うときの「見た」はどうですか。

JG-017 a. 先生を (格助詞-有情物), b. 見ろ (命令形)

友達がよそ見しているので, 「 a 先生を b 見ろ 」と言うときの「先生を見ろ」はどのように言いますか。 #b:GAJ2-86 改

a. 先生を

b. 見ろ

四段力行 : 書く

JG-018 a. おれが (人称代名詞-自称詞), b. 書く (終止形)

「 a おれが b 書く 」と言うときの「おれが書く」はどうですか。※話者自身が使う自称詞を求める。 #a:GAJ6-341 改, b:GAJ2-67 改

a. おれが

b. 書く

JG-019 書く人 (連体形)

「手紙を筆で 書く人 」と言うときの「書く人」のところはどのように言いますか。※「人」の部分も含めて記録する。 #GAJ2-71

JG-020 書かない (否定形・音韻 JP-18 力行子音有声化)

「手紙を 書かない 」と言うときの「書かない」はどうですか。 #GAJ2-80

JG-021 書いた (過去形・音韻 JP-15 連母音アイ)

「手紙を 書いた 」と言うときの「書いた」はどうですか。

JG-022 書けば (仮定形)

「きのう手紙を 書けば 良かった」と言うときの「書けば」はどうですか。 #GAJ3-128

JG-023 a. おまえが (人称代名詞-対称詞), b. 書け (命令形)

「a おまえが b 書け」と言うときの「おまえが書け」はどのように言いますか。 #
a:GAJ6-336 改

a. おまえが

b. 書け

四段ラ行：切る

JG-024 a. 木を (格助詞-非情物 (植物)), b. 切らない (否定形)

「a 木を b 切らない」と言うときの「木を切らない」はどうですか。

a. 木を

b. 切らない

JG-025 a. 指を (格助詞-非情物 (人体)), b. 切った (過去形)

「間違えて, a 指を b 切った」と言うときの「指を切った」はどうですか。

a. 指を

b. 切った

JG-026 a. 髪を (格助詞-非情物 (人体)), b. 切れ (命令形)

「早く a 髪を b 切れ」と言うときの「髪を切れ」はどうですか。※「髪」の部分は、ア
タマ・ケなど普段使う語で回答してもらおう。

a. 髪を

b. 切れ

四段各行：過去形

JG-027 出した（サ行：過去形）

「きのう手紙を 出した 」と言うときの「出した」のところは，地方によって，ダシタ・ダイタなど，いろいろの言い方をします。この土地ではどのように言いますか。 #GAJ2-92

JG-028 研いだ（ガ行：過去形・音韻 JP-17 連母音オイ）

「包丁を 研（と）いだ 」と言うときの「研（と）いだ」はどうですか。 #GAJ2-97

JG-029 飛んだ（バ行：過去形）

「飛行機が 飛んだ 」と言うときの「飛んだ」はどうですか。 #GAJ2-102

JG-030 a. 酒を（格助詞-非情物），b. 飲んだ（マ行：過去形）

「 a 酒を b 飲んだ 」と言うときの「酒を飲んだ」はどのように言いますか。 #GAJ1-6, 2-103

a. 酒を

b. 飲んだ

JG-031 買った（ワ行：過去形）

「1 個 100 円のりんごを 買った 」と言うときの「買った」はどうですか。 #GAJ2-105

カ変：来る

JG-032 a. だろぼうが (格助詞-有情物 (目下)), b. 来る (終止形)

「鍵をかけないと, a だろぼうが b 来 (く) る 」と言うときの「だろぼうが来 (く) る」はどのように言いますか。 #a:GAJ1-3 改, #b:GAJ2-69 改

a. だろぼうが

b. 来る

JG-033 a. 台風が (格助詞-非情物), b. 来ない (否定形)

「今年はまだ a 台風が b 来 (こ) ない 」と言うときの「台風が来 (こ) ない」はどうですか。 #a:GAJ1-4 改, b:GAJ2-83 改

a. 台風が

b. 来ない

JG-034 a. バスが (格助詞-非情物), b. 来た (過去形)

「やっと a バスが b 来た 」と言うときの「バスが来た」はどのように言いますか。

a. バスが

b. 来た

JG-035 a. 車で (格助詞-手段方法), b. 来い (命令形)

「荷物があるから a 車で b 来 (こ) い 」と言うときの「車で来 (こ) い」はどうですか。 #a:GAJ1-29 改, b:GAJ2-90 改

a. 車で

b. 来い

サ変：する

JG-036 する (終止形)

「一日中仕事を する 」と言うときの「する」はどうですか。 ※「ヤル」を使った形は採らない。 #GAJ2-70

JG-037 しない（否定形）

「仕事を頼んだのにまだ しない 」と言うときの「しない」はどうですか。※「ヤル」を使った形は採らない。 #GAJ2-84

JG-038 した（過去形）

「仕事を した 」と言うときの「した」はどうですか。

JG-039 しろ（命令形）

「ぐずぐずしないで早く しろ 」と言うときの「しろ」はどうですか。※「ヤル」を使った形は採らない。 #GAJ2-91

ナ変：死ぬ

JG-040 死ぬ（終止形）

「蟬（せみ）は10日で 死ぬ 」と言うときの「死ぬ」はどうですか。 #GAJ2-68

・活用（形容詞）

JG-041 高い（終止形）

「都会は物価が 高い 」と言うときの「高い」はどうですか。

JG-042 高い物（連体形）

「店で、 高い物 を買う」と言うときの「高い物」はどうですか。※「物」の部分も含めて記録する。 #GAJ3-136

JG-043 高くなる（なる形）

「物の値段がだんだん 高くなる 」と言うときの「高くなる」はどうですか。 #GAJ3-139

JG-044 高くて（て形）

「この品物は、値段が 高くて 質も良い」と言うときの「高くて」のところはどのように言いますか。 #GAJ3-138

JG-045 高く（連用形）

「値段を 高く つりあげる」と言うときの「高く」のところはどのように言いますか。

JG-046 高かった（過去形）

「この着物は 高かった 」と言うときの「高かった」はどうですか。 #GAJ3-141

JG-047 高ければ（仮定形）

「値段がもっと 高ければ 良かった」と言うときの「高ければ」はどうですか。 #GAJ3-143

・活用（形容動詞）

JG-048 静かだ（終止形）

「ここは車が通らないので 静かだ 」と言うときの「静かだ」はどうですか。 #GAJ3-145

JG-049 静かな所（連体形）

「ここは車が通らない 静かなところ だ」と言うときの「静かなところ」はどうですか。
※「ところ」の部分も含めて記録する。 #GAJ3-146

JG-050 静かでない（否定形）

「ここは車が通るのであまり 静かでない 」と言うときの「静かでない」はどうですか。
#GAJ3-147

JG-051 静かだった（過去形）

「あそこは車が通らないので 静かだった 」と言うときの「静かだった」はどうですか。
#GAJ3-148

JG-052 静かなら（仮定形）

「そこがもっと 静かなら 良かった」と言うときの「静かなら」はどうですか。 #GAJ3-150
改

・否定

JG-053 足りない（活用-否定形）

「金が 足りない 」と言うときの「足りない」はどうですか。 #GAJ2-76

JG-054 行かない（活用-否定形）

「あしたは 行かない 」と言うときの「行かない」はどうですか。

JG-055 行きはしない（取立）

「人に言うだけで、自分では 行きはしない 」と言うとき、「行きはしない」のところをどのように言いますか。※「～はしない」にあたる形を求めるが、「～ない」にあたる形しか回答されない場合は、それを記録する。

JG-056 知らない（活用-否定形）

「そんなこと 知らない 」と言うときの「知らない」はどうですか。

JG-057 知りはしない（取立）

「話に聞いているだけで、本当のことは 知りはしない 」と言うとき、「知りはしない」のところはどのように言いますか。※「～はしない」にあたる形を求めるが、「～ない」にあたる形しか回答されない場合は、それを記録する。

JG-058 見ない（活用-否定形）

「朝はテレビを 見ない 」と言うときの「見ない」はどうですか。 #GAJ2-74

JG-059 見はしない（取立）

「あの人は新聞は読むけれども、テレビなど 見はしない 」と言うとき、「見はしない」のところをどのように言いますか。※「～はしない」にあたる形を求めるが、「～ない」にあたる形しか回答されない場合は、それを記録する。 #GAJ4-161 改

JG-060 高くない（活用-否定形）

「この品物の値段はあまり 高くない 」と言うときの「高くない」はどうですか。#GAJ3-137

JG-061 高くはない（取立）

「品も良くて、値段も思ったほど 高くはない 」と言うとき、「高くはない」のところはどのように言いますか。※「～はない」にあたる形を求めるが、「～ない」にあたる形しか回答されない場合は、それを記録する。

JG-062 行かなかった（過去）

「きのうは役場に 行かなかった 」と言うとき、「行かなかった」のところをどのように言いますか。#GAJ4-151

JG-063 見なかった（過去）

「昨日はテレビを 見なかった 」と言うとき、「見なかった」のところをどのように言いますか。

JG-064 行かなくなる（なる形）

「おもしろくないので次第に 行かなくなる 」と言うときの「行かなくなる」のところはどのように言いますか。

JG-065 行かなければ（仮定形）

「あんなところに 行かなければ 良かった」と言うとき、「行かなければ良かった」のところをどのように言いますか。#GAJ4-153

JG-066 行かなくて (付帯状況 (因果))

「子どもが仕事に 行かなくて 困った」と言うとき、「行かなくて困った」のところをどのように言いますか。 #GAJ4-156

・ 格助詞

連体格

JG-067 a. それは (主題助詞), b. おれの (有情物 (話し手))

「a それは b [おれ] の 傘だ」と言うときの「それはおれの傘だ」のところはどのように言いますか。 ※「おれ」の部分は JG-018 参照。 #b:GAJ1-13 改

a. それは

b. おれの

JG-068 おれのだ (有情物 (話し手))

「この傘は [おれ] のだ 」と言うときの「おれのだ」のところはどのように言いますか。 ※「おれ」の部分は JG-018 参照。「～の傘だ」は採らない。 #GAJ6-341 改

JG-069 おまえの (有情物 (聞き手))

「これは [おまえ] の 傘だ」と言うときの「おまえの傘」のところはどのように言いますか。 ※「おまえ」の部分は JG-023 参照。

JG-070 バスの (非情物)

「これは バスの タイヤだ」と言うときの「バスのタイヤ」のところはどのように言いますか。

JG-071 台風の（非情物）

(黒い雲を指さして)「あれは 台風の 雲だ」と言うときの「台風の雲」のところはどのように言いますか。

JG-072 先生の（有情物（目上））

「それは 先生の 傘だ」と言うときの「先生の傘」のところはどのように言いますか。 #GAJ1-15

JG-073 先生のだ（有情物（目上））

「この傘は 先生のだ 」と言うときの「先生のだ」のところはどのように言いますか。 ※「～の傘だ」は採らない。

JG-074 どろぼうの（有情物（目下））

「これは どろぼうの 足跡だ」と言うときの「どろぼうの足跡」のところはどのように言いますか。 #GAJ1-15 改

JG-075 〔長男※語彙項目 JL-079〕の（有情物（親族（上）））

※語彙項目 JL-079「長男」と JL-080 で「次男以下」が語彙的に区別されている場合（一方を指す語しか用意されていないものも含む）のみ尋ねる。

「これは 〔長男〕の 傘だ」と言うときの「〔長男〕の傘」のところはどのように言いますか。

JG-076 〔次男以下※語彙項目 JL-080〕の（有情物（親族（下）））

※語彙項目 JL-079「長男」と JL-080 で「次男以下」が語彙的に区別されている場合（一方を指す語しか用意されていないものも含む）のみ尋ねる。

「これは 〔次男以下〕の 傘だ」と言うときの「〔次男以下〕の傘」のところはどのように言いますか。

方向・目的・場所など

JG-077 a. 学校に (移動方向), b. 行った (活用-過去形)

「きのう a 学校に b 行った 」と言うときの「学校に行った」はどうですか。#b:GAJ2-95
改

a. 学校に

b. 行った

JG-078 a. 東の方へ (移動方面), b. 行け (活用-命令形)

友達から「どちらの方角に行ったら良いか」と聞かれて、「a 東の方へ b 行け 」と教える
ときにはどのように言いますか。※[～の方へ]の形を求める。#a:GAJ1-19

a. 東の方へ

b. 行け

JG-079 a. 仕事に (動作の目的 (名詞)), b. 行かないで (否定-付帯状況)

「a 仕事に b 行かないで 遊んでばかりいる」と言うとき、「仕事に行かないで」のところ
をどのように言いますか。※「仕事シナイデ」「仕事ニデナイデ」などは採らない。#
a:GAJ1-22 改, b:GAJ4-155 改

a. 仕事に

b. 行かないで

JG-080 a. 見に (動作の目的 (動詞)), b. 行く (活用-終止形)

「あした花火を a 見に b 行く 」と言うときの「見に行く」のところはどのように言いま
すか。#a:GAJ1-21 改

a. 見に

b. 行く

JG-081 a. 東京に (帰着点), b. 着いた (音韻 JP-16 ウイ連母音)

「やっと a 東京に b 着いた 」と言うときにはどのように言いますか。#a:GAJ1-20

a. 東京に

b. 着いた

JG-082 大工に (変化の結果)

「息子が 大工に なった」と言うときにはどのように言いますか。 #GAJ1-23

JG-083 a. ここに (存在場所 (非意志的)), b. あるのは (存在動詞・準体助詞)

「a ここに b 有るのは 何か」と言うときにはどのように言いますか。※アリヨルのような形にも注意。 #a:GAJ1-24 改, b:GAJ1-16

a. ここに

b. あるのは

JG-084 運動場で (動作場所)

「運動場で 遊ぶ」と言うときの「運動場で」のところはどのように言いますか。 #GAJ1-28

JG-085 一万円で (手段方法)

(百円の買物をして一万円を出し)「すみませんが, 一万円で お願いします」と言うときの「一万円でお願いします」のところはどのように言いますか。 #GAJ1-30

JG-086 息子に手伝ってもらった (授受対象者)

「息子に 手伝ってもらった」と言うときの「息子に」のところはどのように言いますか。
#GAJ1-26 改

JG-087 a. 友達に (受身の動作主-受益), b. 助けられた (受身-受益)

「a 友達に b 助けられた 」と言うときにはどのように言いますか。※受身形「助けられた」が回答されない場合は、「助けてもらった」でも構わない。

a. 友達に

b. 助けられた

JG-088 a. 犬に (受身の動作主-迷惑), b. 追いかけられた (受身-迷惑)

「a 犬に b 追いかけられた」と言うときにはどのように言いますか。 #GAJ1-27 改

a. 犬に

b. 追いかけられた

JG-089 田中という人 (名称指定)

「きのう, 田中という人 が来た」と言うときの「田中という人」のところはどのように言いますか。 #GAJ1-32

JG-090 来ると言っていた (引用)

「「また 来る」と言っていた」と言うときの「来ると言っていた」のところはどのように言いますか。

・副助詞

JG-091 雨ばかり (対象の排除的特定化)

「毎日 雨ばかり 降っている」と言うときの「雨ばかり」のところはどのように言いますか。 #GAJ1-49

JG-092 皮ごと (対象の包括化)

「みかんを 皮ごと 食べた」と言うときの「皮ごと食べた」のところはどのように言いますか。 #GAJ1-53

JG-093 a. 百円玉しか (対象外の否定), b. ない (活用-否定形)

財布の中を見て「a 百円玉しか b 無い」と言うときにはどのように言いますか。※「無い」を「ある」の否定形で言い表さないか注意する。#a:GAJ1-51 改, b:GAJ4-158 改

a. 百円玉しか

b. ない

JG-094 a. 食いながら (同時進行), b. 歩くな (禁止)

「a 食いながら b 歩くな」と言うときにはどのように言いますか。#a:GAJ1-41, b:GAJ5-221~226 改

a. 食いながら

b. 歩くな

JG-095 皮だけ (食べた) (対象の限定)

「まんじゅうを 皮だけ 食べた」と言うときの「皮だけ食べた」のところはどのように言いますか。#GAJ1-47

JG-096 百円玉だけない (対象の限定)

財布の中の小銭を探して「百円玉だけ無い」と言うときにはどのように言いますか。※「無い」の部分も記録する。

JG-097 お茶でも (適宜選択)

「お茶でも 飲もう」と言うときにはどのように言いますか。#GAJ1-44

・ 接続助詞

JG-098 降っているから (原因理由)

「雨が 降っているから 行くのはやめろ」と言うときの「雨が降っているから」のところはどのように言いますか。 #GAJ1-33 改

JG-099 寒いけれども (逆接-確定)

「少し 寒いけれども がまんしよう」と言うときの「寒いけれども」のところはどのように言いますか。 #GAJ1-38

JG-100 行かなくても (逆接-仮定)

「あそこには 行かなくても 良い」と言うとき、「行かなくても良い」のところをどのように言いますか。 #GAJ4-157

JG-101 行ったってだめだ (逆接-仮定)

「おまえが 行ったってだめだ 」と言うとき、「行ったってだめだ」のところをどのように言いますか。 #GAJ4-171

・ 条件 (順接仮定)

JG-102 行ったら (終わっていた) (事実)

「そこに 行ったら もう会は終わっていた」と言うとき、「そこに行ったら」のところをどのように言いますか。 #GAJ4-170

JG-103 行くと（だめになりそうだ）（後件：懸念）

「おまえが 行くと その話はだめになりそうだ」と言うとき、「お前が行くと」のところをどのように言いますか。 #GAJ4-169

JG-104 行ったら（電話しろ）（後件：命令）

「そこに 行ったら 電話しろ」と言うとき、「そこに行ったら」のところをどのように言いますか。

JG-105 書くなら（きれいに書いてくれ）（後件：依頼）

「手紙を 書くなら , 字をきれいに書いてくれ」と言うときの「書くなら」はどうですか。
#GAJ3-133

JG-106 降ったら（行かない）（後件：意志）

「あした雨が 降ったら おれは行かない」と言うとき、「雨が降ったら」のところはどのように言いますか。 #GAJ4-168

JG-107 高いなら（買わない）（後件：意志）

「そんなに値段が 高いなら 買わない」と言うときの「高いなら」はどうですか。 #GAJ3-144

JG-108 降れば（出ないだろう）（後件：推量）

「あした雨が 降れば 船は出ないだろう」と言うとき、「雨が降れば」のところをどのように言いますか。 #GAJ4-167

・アспект

JG-109 走っている（進行-動作動詞）

（絵）運動会で人が走っているのを見て、「人が 走っている 」と言いますか、ハシリヨルと言いますか、それとも別の言い方をしますか。※「走る」の進行形を求める。

JG-110 散っている（進行-変化動詞）

（絵）桜の花が、今、散っている最中だとします。それを見て、「今、花が 散っている 」と言いますか、チリヨルと言いますか、それとも別の言い方をしますか。※「散る」の進行形を求める。 #GAJ4-198

JG-111 読んでしまった（完了）

「その本はもう 読んでしまった 」と言うとき、「読んでしまった」のところをどのように言いますか。 #GAJ4-205

JG-112 食べかける・食べかけている（始動）

a. 仲の良い友達三人で一緒に食事をしようとして、ちょうど料理が運ばれてきました。その時その内の一人に急に用事ができました。しかし、**すぐに戻れそう**です。自分たちは先に食べることを始めると伝える時、どう言いますか。

b. 同じように、料理が運ばれてきたときに一人に急に用事ができましたが、用事の様子では、**なかなか戻れそうにもない**ようです。自分たちは先に食べることを始めると伝える時、どう言いますか。

・ テンス

JG-113 いるか (非過去 : あいさつ)

親しい友達の家を尋ねて, 入口で「〇〇さん, いるか」と言うとき, どのように言いますか。 #GAJ4-197

JG-114 いた (過去-体験)

友達から別の友達のことを尋ねられて「あいつは, さっきまで確かにここに いた」と言うとき, 「ここにいた」のところをどのように言いますか。※ていねいな形は採らない。 #GAJ4-196

JG-115 行った (なあ) (過去-体験・非体験)

昔, 友達と祭りに行ったことをなつかしく思い出しながら,

- a. その友達に「昔, 二人で祭りに 行ったなあ」と言うとき, 「行ったなあ」のところをどのように言いますか。※「行く」を使った形を求める。 #GAJ4-188 改

- b. 同じ場面で友達に別の友達もそこにいたことを思い出しながら「あいつも 行った」と言うとき「行った」のところをどのように言いますか。※「行く」を使った形を求める。

- c. また同じ場面について, さらに別の友達がいたかどうか思い出せないので「あいつは 行ったか」と尋ねるとき, 「行ったか」のところをどのように言いますか。※「行く」を使った形を求める。

JG-116 強かった（過去-自他）

昔の相撲大会のことを思い出しながら,

- a. 友達に「あのとき、あいつは 強かった 」と言うとき、「強かった」のところをどのように言いますか。※「強い」を使った形を求める。 #GAJ4-194 改

- b. 同じ場面で友達に「あのとき、おれも 強かった 」と言うとき、「強かった」のところをどのように言いますか。※「強い」を使った形を求める。

JG-117 いたそうだ（伝聞-過去（非体験））

たとえば、「昔、昔、あの山に鬼が いたそうだ 」と言うとき、「鬼がいたそうだ」のところをどのように言いますか。 #GAJ5-250

・可能

JG-118 読むことができない（能力-否定-五段）

「うちの孫はまだ小さくて字を知らないので本を 読むことができない 」と言うとき、「読むことができない」のところをどのように言いますか。※「能力可能」の表現を求める。
#GAJ4-182

JG-119 読むことができる（能力-肯定-五段）

「うちの孫は字をおぼえたのでもう本を 読むことができる 」と言うとき、「読むことができる」のところをどのように言いますか。※「能力可能」の表現を求める。 #GAJ4-173

JG-120 読むことができない（状況-否定-五段）

「電燈が暗いので新聞を 読むことができない 」と言うとき、「読むことができない」のところをどのように言いますか。※「状況可能」の表現を求める。 #GAJ4-183

JG-121 読むことができる（状況-肯定-五段）

「電燈が明るいので新聞を 読むことができる 」と言うとき、「読むことができる」のところをどのように言いますか。※「状況可能」の表現を求める。 #GAJ4-174

JG-122 着ることができない（能力-否定-一段）

「うちの孫はまだ一人では着物を 着ることができない 」と言うとき、「着ることができない」のところをどのように言いますか。（能力） #GAJ4-184

JG-123 着ることができる（能力-肯定-一段）

「うちの孫はもう一人で着物を 着ることができる 」と言うとき、「着ることができる」のところはどのように言いますか。（能力） #GAJ4-175

JG-124 着ることができない（状況-否定-一段）

「この着物は古くなったのでもう 着ることができない 」と言うとき、「着ることができない」のところをどのように言いますか。（状況） #GAJ4-185

JG-125 着ることができる（状況-肯定-一段）

「この着物は古くなったけれどもまだ 着ることができる 」と言うとき、「着ることができる」のところをどのように言いますか。（状況） #GAJ4-176

・断定, 推量, 確認要求

JG-126 雨だ (断定-非過去)

「今日は一日中 雨だ 」と言うとき, 「雨だ」のところをどのように言いますか。※「雨が降る」ではなく「雨だ」にあたる名詞述語形式を聞き出す。ただし, 現在形においては「だ」よりも「雨サ」のような終助詞の使用が一般的であると回答された場合は, 「雨+終助詞」の形で記録する。なお, どうしても「雨降りだ」になってしまう場合は(体言相当なので)可とし, その回答を記録する。

JG-127 雨だった (断定-過去)

「昨日は一日中 雨だった 」と言うとき, 「雨だった」のところをどのように言いますか。※「雨が降った」ではなく「雨だった」にあたる名詞述語形式を聞き出す。なお, どうしても「雨降りだった」になってしまう場合は(体言相当なので)可とし, その回答を記録する。

JG-128 雨だろう (推量-名詞述語)

「あしたはたぶん 雨だろう 」と言うとき, 「たぶん雨だろう」のところをどのように言いますか。※「雨が降るだろう」の形は採らない。 #GAJ5-240 改

JG-129 行くだろう (推量-動詞)

友達から「あの人は今日役場に行くだろうか」と聞かれ, 迷いながら「たぶん 行くだろう 」と答えるとき, どのように言いますか。 #GAJ5-237

JG-130 行くのだろう (推量-動詞準体型)

役場への道を歩いている人を見て, 友達から「あの人はどこへ行くのだろうか」と聞かれ, 「役場に 行くのだろう 」と答えるとき, 「行くのだろう」のところはどのように言いますか。 #GAJ5-238

JG-131 行っただろう (推量-動詞-過去)

友達から「あの人はきのう役場に行っただろうか」と聞かれ、「行っただろう」と答えるとき、どのように言いますか。 #GAJ5-239

JG-132 行ったのだろう (推量-動詞準体型-過去)

役場の封筒を持って歩いている人を見て、友達から「あの人は役場へ行ったのだろうか」と聞かれ「役場に 行ったのだろう」と答えるとき、「行ったのだろう」のところはどのように言いますか。

JG-133 あるじゃないか (確認要求)

眼鏡をさがしている友達に「眼鏡ならそこに あるじゃないか」と言うとき「あるじゃないか」のところをどのように言いますか。

JG-134 あるんじゃないか (確認要求)

具合が悪そうな友達に「もしかして熱でも あるんじゃないか」と聞くとき「あるんじゃないか」のところをどのように言いますか。

・義務, 意志, 希望

JG-135 行かなければならない (義務)

親しい友達にむかって、「おれはあした役場に 行かなければならない」と言うとき、「行かなければならない」のところをどのように言いますか。 #GAJ5-206・207・208

JG-136 書こう (意志-五段)

自分自身で「きょうは手紙を 書こう 」とつぶやくときの「書こう」のところはどのように言いますか。 #GAJ3-109 改

JG-137 起きよう (意志-一段)

自分自身で「あしたは早く 起きよう 」とつぶやくときの「起きよう」のところはどのように言いますか。 #GAJ3-106

JG-138 行くまい (否定意志)

「もうそんなところへなんか、けっして 行くまい 」と心に決めるとき、「行くまい」のところをどのように言いますか。 ※「イカナイ」などでも可。 #GAJ5-234

JG-139 行きたいなあ (希望)

「温泉に 行きたいなあ 」とつぶやくとき、「行きたいなあ」のところをどのように言いますか。 #GAJ5-227

JG-140 行ってもらいたい (希望)

「あの人には、是非、いっしょに 行ってもらいたい 」と言うとき、「行ってもらいたい」のところをどのように言いますか。 #GAJ5-231

・授与, ヴォイス

JG-141 a. 孫に (格助詞-授与対象者), b. やる (本動詞: 意志文)

「本を a 孫に b やる 」と言うときの「孫にやる」のところはどのように言いますか。 #

a:GAJ1-25

a. 孫に

b. やる

JG-142 やった (本動詞: 叙述文)

「孫に本を やった 」と言うときの「やった」のところはどのように言いますか。

JG-143 読んでやる (補助動詞: 意志文)

「孫に本を 読んでやる 」と言うときの「読んでやる」のところはどのように言いますか。

JG-144 読んでやった (補助動詞: 叙述文)

「きのう孫に本を 読んでやった 」と言うときの「読んでやった」のところはどのように言いますか。

JG-145 来させる (使役)

「孫を無理に 来 (こ) させる 」と言うときの「来 (こ) させる」はどうですか。 ※「ヨブ」「ヨコサセル」などは採らない。 #GAJ3-120

・ 応答詞

JG-146 いや, 飲まない (肯定疑問への否定文回答)

友達から「あの人は酒を飲むのか?」と聞かれて, 「いや, 飲まない」と答えるとき, どのように言いますか。※応答詞「いや」も含めての回答を求める。

JG-147 うん, 飲む (肯定疑問への肯定文回答)

友達から「あの人は酒を飲むのか?」と聞かれて, 「うん, 飲む」と答えるとき, どのように言いますか。※応答詞「うん」も含めての回答を求める。

JG-148 うん, 飲まない (否定疑問への肯定文回答)

友達から「あの人は酒を飲まないのか?」と聞かれて, 「うん, 飲まない」と答えるとき, どのように言いますか。※応答詞「うん」も含めての回答を求める。

JG-149 いや, 飲む (否定疑問への否定文回答)

友達から「あの人は酒を飲まないのか?」と聞かれて, 「いや, 飲む」と答えるとき, どのように言いますか。※応答詞「いや」も含めての回答を求める。

・待遇

話し手主体

JG-150 (自分が) 来る : A 場面

近所の知り合いの人にむかって、ややていねいに「自分は、あしたもここに 来る 」と言うとき、「ここに来る」のところはどのように言いますか。 #GAJ6-313 改

JG-151 (自分が) 来る : B 場面

この土地の目上の人にむかって、ひじょうにていねいに「自分は、あしたもここに 来る 」と言うとき、「ここに来る」のところはどのように言いますか。 #GAJ6-312

聞き手主体

書く

JG-152 (聞き手が) 書くか : O 場面

親しい友達にむかって、「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くとき、「書くか」のところをどのように言いますか。

JG-153 (聞き手が) 書くか : A 場面

近所の知り合いの人にむかって、ややていねいに「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くとき、「書くか」のところをどのように言いますか。 #GAJ6-273

JG-154 (聞き手が) 書くか : B 場面

この土地の目上の人にむかって、ひじょうにていねいに「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くとき、「書くか」のところをどのように言いますか。 #GAJ6-271

JG-155 (聞き手が) 書くか：父親に

自分の父親にむかって、「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くと、「書くか」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も、いたときのこととして回答してもらう。

JG-156 (聞き手が) 書くか：配偶者に

自分の奥さん(あるいは御主人)にむかって、「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くと、「書くか」のところをどのように言いますか。※配偶者が今はいない場合も、いたときのこととして回答してもらう。

JG-157 (聞き手が) 書くか：[本家※語彙項目 JL-083]・[分家※語彙項目 JL-084] の主人に

※語彙項目 JL-083「本家」と JL-084「分家」がともに(共通語形も含む)語形が回答されている場合のみ尋ねる。

[本家](あるいは[分家])の主人にむかって、「ひと月に何通手紙を 書くか 」と聞くと、「書くか」のところをどのように言いますか。※語彙項目 JL-084-b で、話者自身が「分家」の場合は「本家」の主人に向かってとし、話者自身が「本家」の場合は「分家」の主人に向かって、として尋ねる。なお、「[本家]の主人」「[分家]の主人」に対する表現が特定できない(また場面が想定できない)という回答の場合は、NR と記載するのみでよい。

行く

JG-158 (聞き手が) 行くか : A 場面

近所の知り合いの人にむかって、ややていねいに「どこへ 行くのか」と行先をたずねるとき、どのように言いますか。

JG-159 (聞き手が) 行くか : B 場面

この土地の目上の人にむかって、ひじょうにていねいに「どこへ 行くのか」と行先をたずねるとき、どのように言いますか。 #GAJ6-275・276

来る

JG-160 (聞き手が) 来るか : A 場面

近所の知り合いの人にむかって、ややていねいに「あしたもここに 来るか」と聞くとき、「ここに来るか」のところをどのように言いますか。

JG-161 (聞き手が) 来るか : B 場面

この土地の目上の人にむかって、ひじょうにていねいに「あしたもここに 来るか」と聞くとき、「ここに来るか」のところをどのように言いますか。 #GAJ6-278・279

いる

JG-162 a. 家に (格助詞-存在場所 (意志的)), (聞き手が) いるか : 0 場面

親しい友達にむかって、「あしたは a 家に b いるか」と聞くとき、「家にいるか」のところをどのように言いますか。

a. 家に

b. いるか

JG-163 (聞き手が) いるか : A 場面

近所の知り合いの人にむかって、ややていねいに「あしたは家に いるか 」と聞くと、
「家にいるか」のところをどのように言いますか。 #GAJ6-283・284 改

JG-164 (聞き手が) いるか : B 場面

この土地の目上の人にむかって、ひじょうにていねいに「あしたは家に いるか 」と聞くと、
「家にいるか」のところをどのように言いますか。 #GAJ6-281・282

JG-165 (聞き手が) いるか : 父親に

自分の父にむかって、「あしたは家に いるか 」と聞くと、「家にいるか」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も、いたときのこととして回答してもらう。
#GAJ6-285・286

聞き手主体・命令

JG-166 来い : A 場面

近所の知り合いの人にむかって、ややていねいに「こちらの方へ 来い 」と言うとき、「来い」のところをどのように言いますか。

JG-167 来い : B 場面

この土地の目上の人にむかって、ひじょうにていねいに「こちらの方へ 来い 」と言うとき、「来い」のところをどのように言いますか。 #GAJ6-300・301

第三者主体

外部目上主体

JG-168 a. 先生が (格助詞-有情物 (目上)), b. 来る : 0 場面

親しい友達にむかって, 「もうすぐ a 先生が b 来る 」と言うとき, 「先生が来る」の
ところをどのように言いますか。 #a:GAJ1-2 改

a. 先生が

b. 来る

JG-169 先生が来る : A 場面

近所の知り合いの人にむかって, ややていねいに「もうすぐ先生が 来る 」と言うとき,
「先生が来る」のところをどのように言いますか。

JG-170 先生が来る : 父親に

自分の父親にむかって, 「もうすぐ先生が 来る 」と言うとき, 「先生が来る」のところを
どのように言いますか。※父親が今はいない場合も, いたときのこととして回答してもら
う。

外部中上位・中位主体

JG-171 近所の知り合いが来る : 0 場面

親しい友達にむかって, 「もうすぐ近所の〇〇さんが 来る 」と言うとき, 「〇〇さんが来
る」のところをどのように言いますか。

JG-172 友達が来る : 0 場面

親しい友達にむかって, 「もうすぐ友達の〇〇君が 来る 」と言うとき, 「〇〇君が来る」
のところをどのように言いますか。

身内主体

JG-173 自分の父親が来る : 0 場面

親しい友達にむかって, 「もうすぐ自分の父親が 来る 」と言うとき, 「自分の父親が来る」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も, いたときのこととして回答してもらう。

JG-174 自分の父親が来る : A 場面

近所の知り合いの人にむかって, ややていねいに「もうすぐ自分の父親が 来る 」と言うとき, 「自分の父親が来る」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も, いたときのこととして回答してもらう。 #GAJ6-317 改

JG-175 自分の父親が来る : B 場面

この土地の目上の人にむかって, ひじょうにていねいに「もうすぐ自分の父親が 来る 」と言うとき, 「自分の父親が来る」のところをどのように言いますか。※父親が今はいない場合も, いたときのこととして回答してもらう。 #GAJ6-315・316 改

JG-176 自分の父親が来る : 母親に

自分の母親にむかって, 「もうすぐ自分の父親が 来る 」と言うとき, 「自分の父親が来る」のところをどのように言いますか。※父親・母親が今はいない場合も, いたときのこととして回答してもらう。

JG-177 自分の配偶者が来る : 0 場面

親しい友達にむかって, 「もうすぐ自分の奥さん(あるいは御主人)が 来る 」と言うとき, 「自分の奥さん(あるいは御主人)が来る」のところをどのように言いますか。※配偶者が今はいない場合も, いたときのこととして回答してもらう。

断定辞, 自然物

JG-178 雨だ : A 場面

近所の知り合いの人にむかって, ややていねいに「外は 雨だ 」と言うとき, 「雨だ」のところをどのように言いますか。 #GAJ6-329

JG-179 雨だ : B 場面

この土地の目上の人にむかって, ひじょうにていねいに「外は 雨だ 」と言うとき, 「雨だ」のところをどのように言いますか。 #GAJ6-327 改

JG-180 [太陽※語彙項目 JL-124] がのぼった

※「[太陽]」の部分は語彙項目 JL-124 で聞き出した語形に置き換えて尋ねる。

「太陽がのぼった」と言うとき, 「太陽がノボラサッタ」のようにていねいに言うところがあるようです。このあたりでは, 「[太陽] がのぼった」ということを, どのように言いますか。

・あいさつ

JG-181 おはよう : A 場面

朝, 近所の知り合いの人に道で出会ったとき, どんなあいさつをしますか。ふつう良く使う言い方を教えてください。※あいさつをしない場合や定型のあいさつがない場合は, NR として〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。 #GAJ6-349

JG-182 おはよう : O 場面

朝, 親しい友達に道で出会ったとき, どんなあいさつをしますか。ふつう良く使う言い方を教えてください。※あいさつをしない場合や定型のあいさつがない場合は, NR として〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。

JG-183 おはよう（家族に）

a. 朝、奥さん（あるいは御主人）に対して、どんなあいさつをしますか。ふつう良く使う言い方を教えてください。※あいさつをしない場合や定型のあいさつがない場合は、NRとして〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。また、配偶者が今はいない場合も、いたときのこととして回答してもらう。

b. 朝、同居しているお孫さんに対して、どんなあいさつをしますか。ふつう良く使う言い方を教えてください。※あいさつをしない場合は、NRとして〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。また、同居している孫がいない場合も、いるときのこととして回答してもらう。

JG-184 ありがとう

（絵）人から物をもらって「ありがとう」とお礼を言うとき、どのように言いますか。 # GAJ5-267～270

JG-185 いただきます

a. 食事を食べ始めるとき、どんなあいさつをしますか。※あいさつをしない場合や定型のあいさつがない場合は、NRとして〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。

b. 食事を食べ始めるとき、手を合わせますか。

①合わせる ②合わせない

③その他の非言語行動をとる

（具体的内容→

）

JG-186 ごちそうさま

a. 食事を食べ終えたとき, どんなあいさつをしますか。※あいさつをしない場合や定型のあいさつがない場合は, NR として〈この場面ではあいさつをしない〉〈決まったあいさつがない〉のように注記も記載する。

b. 食事を食べ終えたとき, 手を合わせますか。

①合わせる ②合わせない

③その他の非言語行動をとる

(具体的内容→

)

・詠嘆

JG-187 詠嘆 (熱い: 感覚, 恐い: 感情, 高い: 状態)

思わず発する独り言についてうかがいます。

a. お茶を飲んでみると思いのほか熱くて思わず独り言を発するとき, アツツやアツサやアツイコトのように言いますか。それとも別の言い方をしますか。

b. 戦争や事件・事故などの[恐い] 話をニュースで知り思わず独り言を発するとき, コワッやコワサやコワイコトのように言いますか。それとも別の言い方をしますか。※[恐い] の部分は, 語彙項目 JL-085 で聞き出した語形に置き換えてもよい。

c. お店で何気なく値札を見ると思いのほか値がはっていて思わず独り言を発するとき, タカッやタカサやタカイコトのように言いますか。それとも別の言い方をしますか。

解説

調査研究の目標

この調査票は、将来の全国方言調査・研究に向けた準備調査を行うための調査票である。

将来の全国方言調査・研究については、国立国語研究所に設けた全国方言調査委員会とともに 2006 年度から検討を進めてきている。

将来の全国方言調査・研究は、方言の形成過程を明らかにすることを目的とするもので、そのための全国方言の分布データを臨地調査に基づき、収集する。

方言の形成過程の解明には以下の観点からのアプローチが求められる。

(a)言語変化と地理空間の相関把握と分析：特に分布の経年比較

(b)地理空間が有する地域特性と言語の関係の解明

このうち(a)については、言語変化に伴う言語的変異と地理空間の関係を現在の分布として把握するとともに、過去に明らかにされた分布との間の経年的比較が重要な観点となる。従来から分布の通時的説明理論として重要な位置付けを有してきた「方言周圏論」ならびに言語地理学における「隣接分布の原則」の検証は、本研究の重要課題である。

(b)は、従来の方言分布研究が言語変化と地理空間上の分布の連続的(sequential)な関係に依存してきたのとは別に、地理空間を軸にしながら、社会・人的交流・自然などの地域特性との関係で言語変異のありかたを解明しようとするものである。方言分布や変異の伝播は、人的ネットワークを基盤として形成されたものと考えられ、地理的連続性はその結果として現れるものである。分布形成要因の本質としての地域特性との関係の分析に立ち帰ることが必要である。

項目の設定を行うにあたっては、以上の観点を拠り所とすることになるが、同時に分布調査では、これまで知られていなかった分布の解明・発見も期待される。その結果得られる分布情報は、(方言の持つ危機言語性を鑑みるなら)文化財的性質を帯びるとともに将来の分布調査への重要な手がかりともなる。項目設定には、このような観点も盛り込むこととした。

項目設定の基本方針

日本の方言学においては、これまでに全国調査・地域調査も含めて、400 冊以上の言語地図集とそこに収録された約 30000 枚の言語地図が作成されてきた(この量は、世界的にも突出している)。言語変化ならびにそれにもなう分布の経年比較においては、これらの先行調査研究は当然のことながら、重要な比較対象として位置付けられる。

そこで、これらの言語地図をデータベース化し、そこから①量的観点(比較的多くのデータ蓄積があること)、②質的観点(言語変化が分布の中で顕在化していること)、③分布解明(未解明項目と新規変化項目)、④地域性(特定の地域に特化されないこと；研究が全国を対象とすることによる条件であり、特定の地域の現象は個別の研究課題として扱い得る)の 4 観点をもとに項目を選定することとした。後(次々頁以降)に掲載した対象分野(音韻・語彙・文法)ごとの項目の分類一覧に提示している「分析対象の主目的」が、この観点に対応するもので、特に②の質的観点には「言語変化に伴う分布の変動」「関連項目の補完」が、③の分布未解明には「新たな観定の導入」「新たな変化の把握」が対応する(①④の観点は②③の検討を経た上での選定条件となる)。

以上の方針に基づきながら、本調査に向けての準備調査としては、約 300 項目程度を対象とし、分野別の配分は音韻 1 割・語彙 3 割・文法 6 割程度とすることを目安に(文法が多いのは、言語変化の理論的背景が把握しやすいことによる)項目を設定することを目指した。

項目選定の経過

分布変化を把握するための基本となる既存の言語地図の書誌ならびに項目のデータベース化からとりかかった。特に、各対象項目の内容(個々の地図が何についての分布を表そうとしたか)については、下記の経過で手分けをしながら、複数回にわたり、また(タグ付けの「ぶれ」を避けるため)複数の研究者の目で見直す形でタグ(具体的には分類分野情報や品詞情報などのデータ)を付与し、データベース化した。

言語地図集の書誌データベース整備については、吉田雅子が入力作業者と協力しながら、大西がすでに作成していたデータを整える(個々の地図の質問文データの追加や目次のない地図集の項目データの追加・確認作業等を含む)形で 2007 年 5 月から開始した(この作業は、2009 年 1 月現在も継続中)。

項目タグ付けデータベース化作業は、大西がすでに作成していた言語地図集の目次データをもとにしながら、2006 年 8 月に開始した(2006 年 6～7 月には語彙項目の分類案を作成し、試験運用を実施している)。この作業には、大西・三井はるみ・吉田雅子・小西いずみ・竹田晃子・新井小枝子が手分けして取り組んだ。第 1 回目の作業は、2006 年 8 月～2007 年 5 月に行った。第 1 回目の作業終了後、作業上の問題点を整理するとともにデータの追加と分担範囲の再配分を行い、第 2 回目の作業を 2007 年 11 月～2008 年 1 月に実施した(2007 年 5～11 月は上記の書誌データベース整備に基づく質問文データの追加作業を行った)。第 2 回目の作業終了後、手分けして作成したデータを統合し、第 3 回目にあたる最終確認作業(タグ付けの統一ならびに個々の地図項目の主目的の絞り込みを含む)を 2008 年 2 月～8 月に大西と竹田が行った。

このタグ付き項目データベースをもとに、上記の調査・研究の目的・観点に基づき、大西が準備調査用の項目を選定し(2008 年 9～11 月)、全国方言調査委員会の全委員に提示した。全国方言調査委員会の各委員は、大西の選定項目に意見を提出した(2008 年 12 月)。

2009 年 1 月 11 日～12 日に、全委員が集まる全国方言調査委員会を開き、各委員の意見を集約した項目案を委員全員で検討した。その検討結果を受けて、大西が最終選定を行い、先行研究等を参考にしながら質問文を付与し、全体の配列等を行うことで、この準備調査票の形になった。

この準備調査票に収録した個々の項目の言語的性質ならびに目的の概要については、先にもふれた対象分野(音韻・語彙・文法)ごとの項目の分類一覧(次頁以降に掲載)に提示している。収録項目数は、質問文ベースで音韻 14・語彙 124・文法 187(計 325)、分析対象項目ベースで音韻 32・語彙 143・文法 223(計 398)である(分野別の割合は、質問文ベース:音韻 4%・語彙 38%・文法 58%, 分析対象項目ベース:音韻 8%・語彙 36%・文法 56%)。

今後、この準備調査票で全国調査を行い、その結果とともに、具体的な項目・対象話者・地点数等の検討を経て、全国方言の本調査の実施を目指すことになる。

(2009 年 1 月 28 日 大西拓一郎 記)

音韻項目（準備調査）の分類一覧

※分析対象（番号）：番号は調査票の質問文の番号に対応。abなどは質問文の枝番。
[JG]と記しているものは文法項目の中で扱われていることを示す。

※分析対象の主目的

M 言語変化に伴う分布の変動：Movement

※LAJ：○は関連項目が地図集に収録（地図番号は、質問文を参照）

大分類	中分類	分析対象（番号）	分析対象の主目的	LAJ
母音	単母音（イ・エ：語頭）	胃（JP-13-a）	M	
		絵（JP-13-b）	M	
		「胃」と「絵」（JP-13-c）	M	
	連母音（アイ）	（書いた）（JP-15[JG-021]）	M	
	連母音（ウイ）	（着いた）（JP-16[JG-081]）	M	
	連母音（オイ）	（研いだ）（JP-17[JG-028]）	M	
	開合	楊枝（開音）（JP-14-a）	M	
用事（閉音）（JP-14-b）		M		
「楊枝」と「用事」（JP-14-c）		M		
子音	ガ行鼻濁音	鏡（JP-01）	M	○
	合拗音	火事（JP-02）	M	○
		元日・元旦（JP-03）	M	○
		正月（JP-04）	M	○
	語中子音の有声化（カ行）	（書かない）（JP-18[JG-020]）	M	
	語中子音の有声化（タ行）	（開けた）（JP-19[JG-009]）	M	
	セ・ゼ（口蓋化）	汗（JP-06）	M	○
		背中（JP-07）	M	○
	四つ仮名	富士（フジ）（JP-08-a）	M	
		藤（フチ）（JP-08-b）	M	
		「富士」と「藤」（JP-08-c）	M	
		鈴（スズ）（JP-09）	M	
		水（ミヅ）（JP-10）	M	
	一つ仮名	知事（チジ）（JP-11-a）	M	
		地図（チヅ）（JP-11-b）	M	
		「知事」と「地図」（JP-11-c）	M	
	シ・ス・チ・ツ	寿司（JP-05-a）	M	
煤（JP-05-b）		M		
「寿司」と「煤」（JP-05-c）		M		
シ・ヒ（歯茎音・口蓋音）	白い（JP-12-a）	M		
	広い（JP-12-b）	M		
	「白い」と「広い」（JP-12-c）	M		
* ザ行とダ行の交替	（座布団）（JP-20[JG-013]）	M		

語彙項目（準備調査）の分類一覧

※分析対象（番号）：番号は調査票の質問文番号に対応。abなどは質問文の枝番

※分析対象の主目的

M 言語変化に伴う分布の変動：Movement

C 関連項目の補完：Complement

V 関連項目の照合・確認：Verification

Nv 新たな観点の導入：New viewpoint

Nc 新たな変化の把握：New change

※LAJ：○は関連項目が地図集に収録（地図番号は、質問文を参照）

大分類	中分類	小分類	分析対象 (番号)	分析対象 の主目的	LAJ	大分類	中分類	小分類	分析対象 (番号)	分析対象 の主目的	LAJ
人間	人倫	個別親族	長男 (JL-079)	Nv		人間	動作	客体への働きかけ	(手袋を) はめる (JL-054)	Nv	
			長女 (JL-081)	Nv					おんぶする (幼児を負う) (JL-055)	M	○
			次男以下 (JL-080)	Nv					しょう (包みを背負う) (JL-056)	M	○
			次女以下 (JL-082)	Nv					かつぐ (片方の肩で包を担ぐ) (JL-057)	M	○
			まご (JL-077)	V					かつぐ (材木を担ぐ) (JL-058)	M	○
			ひまご (JL-078)	M	○				かつぐ (天秤棒を担ぐ) (JL-059)	M	○
		親族集合等	本家 (JL-083)	Nv					かつぐ (二人で担ぐ) (JL-060)	M	○
			分家 (名称) (JL-084-a)	Nv					はこぶ (JL-061)	C	
			分家 (話者の所属) (JL-084-b)	Nv					すてる (JL-062)	M	○
			分家 (上下意識) (JL-084-c)	Nv					なげる (JL-063)	C	
	人体	頭部	ふけ (JL-036)	M	○			主体の移動	いく・くる (JL-064)	Nv	
			ものもらい (名称) (JL-038-a)	M	○			主体の変化	あぐらをかく (JL-065)	M	○
			ものもらい (治療方法) (JL-038-b)	Nv			状態	動作・変异性	<蚊に> さされる (JL-006)	Nc	
			した (JL-039)	M	○				おおきい (JL-089)	M	○
		上半身	みずおち (JL-040)	M	○			客観的	ふとい (JL-091)	M	○
			なかゆび (JL-041)	M	○				あらい (JL-093)	M	○
			<牛馬の> ひかがみ (名称) (JL-012-a)	Nv					ちいさい (JL-090)	M	○
			<牛馬の> ひかがみ (牛馬の飼育経験) (JL-012-b)	Nv					ほそい (JL-092)	M	○
		下半身	<牛馬の> ひかがみ (対象物への関心) (JL-012-c)	Nv					こまかい (JL-094)	M	○
			くるぶし (JL-042)	M	○			副詞的	とても (JL-087-a)	Nc	
			かかと (JL-043)	M	○				おもしろい (JL-087-b)	Nc	
			あか (JL-037)	M	○				ぜんぜん (JL-088-a)	Nc	
			ほくろ (JL-044)	M	○				おもしろくない (JL-088-b)	Nc	
			あざ：内出血 (JL-045)	M	○		感情	心情的	おそろしい (JL-085)	M	○
		皮膚・傷等	あざ：生得 (JL-046)	M	○			感覚的	びっくりする (JL-086)	M	○
			あざ：蒙古斑 (JL-047)	C		感覚	味覚	おいしい (JL-101)	おいしい (JL-101)	M	○
			かさぶた (JL-048)	C					<味が> まずい (JL-102)	C	
			しもやけ (JL-049)	M	○				しおからい (JL-095)	M	○
			ゆきやけ (JL-050)	V					あまい (JL-099)	M	○
			(服を) きる (JL-051)	Nv					すっぱい (梅干しの味) (JL-097)	M	○
			(靴を) はく (JL-052)	Nv					すっぱい (レモンの味) (JL-098)	C	
	動作	客体への働きかけ	(靴下を) はく (JL-053)	Nv					からい (JL-096)	M	○
			(帽子を) かぶる (JL-053)	Nv							

大分類	中分類	小分類	分析対象 (番号)	分析対象 の主目的	LAJ	大分類	中分類	小分類	分析対象 (番号)	分析対象 の主目的	LAJ	
人間	感覚	味覚	<塩味が>うす い(JL-100)	M	○	自然	時空間	時間	やのあさって (明明明後日) (JL-114)	M	○	
生活	食生活	道具	まないた(JL-03 3)	M	○			数量・順位	いくつ(個数) (JL-115)	M	○	
		調理法	たく(JL-031)	M	○				いくつ(何歳) (JL-116)	M	○	
		素材・食品	ひきにく(JL-03 5)	Nc					いくら(値段) (JL-117)	M	○	
			いろいろ(名称) (JL-068-a)	M					かぞえる(数え る)(JL-118)	M	○	
	住生活	台所・炊事	いろいろ(物の存 否)(JL-068-b)	Nv			天地	気象	つゆ(梅雨)(J L-119)	M	○	
			いろいろ(利用経 験)(JL-068-c)	Nv					つらら(JL-072)	M	○	
			いろいろ(利用方 法)(JL-068-d)	Nv					じしん(地震) (JL-120)	M	○	
			かまど(名称) (JL-069-a)	M				地形・天体	やま(JL-121)	Nv		
		家屋・部屋	かまど(物の存 否)(JL-069-b)	Nv					もり(JL-122)	M	○	
			ふろく児童語> (JL-108)	Nv					はやし(JL-123)	M	○	
		建具・道具 ・屋外	ふすま(JL-066)	M	○			塵芥等	たいよう(JL-12 4)	M	○	
			いど(名称)(J L-067-a)	M	○		動物	は虫類	とかげ(JL-010)	M	○	
	農林業	米・米作	いど(物の存 否)(JL-067-b)	Nv					かなへび(JL-01 1)	M	○	
			うるち(JL-030)	M	○		うろこ(JL-013)	M	○			
		穀物・芋類	やまいも(JL-02 6)	C			魚介類		<蟹の>こうら (JL-014)	C		
			さといも(JL-02 5)	M	○				ぶり(JL-015)	Nv		
			さつまいも(JL- 024)	M	○				軟体動物	かたつむり(JL- 001)	M	○
			じゃがいも(JL- 023)	M	○			なめくじ(JL-00 2)		M	○	
			イモの意味(JL- 027)	M	○			昆虫		かまきりむし(J L-003)	M	○
			とうもろこし(J L-028)	M	○					とんぼ(JL-004)	M	○
			かぼちゃ(JL-02 9)	M	○					ぼうふら(JL-00 5)	V	
	鉱工業		せともの(JL-03 4)	M	○				かぶとむし(JL- 007)	Nc		
		遊戯	集団	かたあしとびを する(JL-105)	M		○		くわがたむし(J L-008)	Nc		
				おてだまあそび (JL-103)	M		○	アブラムシ(JL- 009)	Nc			
			女兒	おはじき(JL-10 4)	M			植物	野草	つくし(JL-016)	M	○
	めんこ(JL-106)			Nc			すぎな(JL-017)			M	○	
	動作・方法		かたぐるま(JL- 107)	M	○		ひがんばな(名 称)(JL-019-a)			M		
		かみ・ほとけ< 児童語>(JL-10 9)	Nv		ひがんばな(語 源意識)(JL-01 9-b)		Nv					
	生活(その 他)	道具	じてんしゃ(JL- 074)	Nc			ひがんばな(利 用方法)(JL-01 9-c)			Nv		
			じょうぎ(JL-07 5)	Nc			ほうせんか(名 称)(JL-018-a)			M		
			こくばんけし(J L-076)	Nc			ほうせんか(利 用方法)(JL-01 8-b)			Nv		
			しちりん(名 称)(JL-070-a)	M			菌類等			きのこ(JL-021)	M	○
			しちりん(物の 存否)(JL-070-b)	Nv						まつかさ(JL-02 0)	M	○
			からさお(名 称)(JL-071-a)	M			実・葉等		<柿の>へた(J L-022)	C		
			からさお(物の 存否)(JL-071- b)	Nv					かつぱ(名称) (JL-110-a)	M		
			一昨々日(JL-11 2)	M	○				かつぱ(形状) (JL-110)	Nv		
		自然	時空間	時間	一昨日(JL-111)		M	○	その他	その他		
					しあさって(明 明後日)(JL-11 3)	M	○					

文法項目（準備調査）の分類一覧

※分析対象（番号）：番号は調査票の質問文の番号に対応。abなどは質問文の枝番

※分析対象の主目的

M 言語変化に伴う分布の変動：Movement

C 関連項目の補完：Complement

V 関連項目の照合・確認：Verification

Nv 新たな観点の導入：New viewpoint

Nc 新たな変化の把握：New change

※GAJ：○は関連項目が地図集に収録（地図番号は、質問文を参照）

大分類	中分類	小分類	分析対象 (番号)	分析対象 の主目的	GAJ	大分類	中分類	小分類	分析対象 (番号)	分析対象 の主目的	GAJ
活用	動詞 四段 書く	終止形	書く (JG-018-b)	V	○	活用	形容詞 高い	連用形	高く (JG-045)	C	
		連体形	書く人 (JG-019)	M	○			過去形	高かった (JG-046)	M	○
		否定形	書かない (JG-020)	M	○			仮定形	高ければ (JG-047)	M	○
		過去形	書いた (JG-021)	V	○		形容動詞 静かだ	終止形	静かだ (JG-048)	M	○
		仮定形	書けば (JG-022)	M	○			連体形	静かな所 (JG-049)	M	○
		命令形	書け (JG-023-b)	V				否定形	静かでない (JG-050)	M	○
	動詞 四段 行く	終止形	行く (JG-080-b)	V				過去形	静かだった (JG-051)	M	○
		否定形	行かない (JG-054)	V				仮定形	静かなら (JG-052)	M	○
		過去形	行った (JG-077-b)	M	○	否定	過去	動詞 行く	行かなかった (JG-062)	M	○
		命令形	行け (JG-078-b)	V				動詞 見る	見なかった (JG-063)	C	
	動詞 四段 研ぐ	過去形	研いだ (JG-028)	M	○		取立	動詞 行く	行きはしない (JG-055)	C	
	動詞 四段 出す	過去形	出した (JG-027)	M	○			動詞 見る	見はしない (JG-059)	M	○
	動詞 四段 飛ぶ	過去形	飛んだ (JG-029)	M	○			動詞 知る	知りはしない (JG-057)	C	
	動詞 四段 飲む	過去形	飲んだ (JG-030-b)	M	○			形容詞 高い	高くはない (JG-061)	V	
	動詞 四段 切る	否定形	切らない (JG-024-b)	M			なる形	動詞 行く	行かなくなる (JG-064)	Nc	
		過去形	切った (JG-025-b)	V				仮定形	行かなければ (JG-065)	M	○
		命令形	切れ (JG-026-b)	V			付帯状況	動詞 行く	行かないで (JG-079-b)	M	○
	動詞 四段 知る	否定形	知らない (JG-056)	C			付帯状況 (因果)	動詞 行く	行かなくて (JG-066)	M	○
	動詞 四段 足る	否定形	足りない (JG-053)	M	○	格助詞	主格	非情物	が：バスが (JG-034-a) が：台風が (JG-033-a)	C M	○
	動詞 四段 買う	過去形	買った (JG-031)	M	○			有情物 (目下)	が：どろぼうが (JG-032-a)	M	○
	動詞 上一段 見る	終止形	見る (JG-015)	V				有情物 (目上)	が：先生が (JG-168-a)	M	○
		否定形	見ない (JG-058)	M	○		動作対象	非情物	を：酒を (JG-030-a) を：窓を (JG-010-a)	M M	○
		過去形	見た (JG-016)	C				非情物 (植物)	を：木を (JG-024-a)	C	
	動詞 上二段 起きる	命令形	見ろ (JG-017-b)	M	○			非情物 (人体)	を：指を (JG-025-a) を：髪を (JG-026-a)	C C	
		終止形	起きる (JG-001)	M	○			有情物	を：先生を (JG-017-a)	C	
		連体形	起きる人 (JG-002)	C			授与対象	授与対象者	に：孫に (JG-141-a)	M	○
		否定形	起きない (JG-003)	M	○		授受対象	授受対象者	に：息子に手伝ってもらった (JG-086)	M	○
	動詞 下二段 寝る	過去形	起きた (JG-004-b)	C			受身の動作主	受益	に：友達に助けられた (JG-087-a)	C	
		仮定形	起きれば (JG-005)	M	○			迷惑	に：犬に追いかけられた (JG-088-a)	M	○
		命令形	起きろ (JG-006)	M	○		動作の目的 (名詞)		に：仕事に (JG-079-a)	M	○
		終止形	寝る (JG-011)	M	○		動作の目的 (動詞)		に：見に (JG-080-a)	M	○
	動詞 下二段 開ける	否定形	寝ない (JG-012)	M	○		手段方法		で：一万円で (JG-085) で：車で (JG-035-a)	M M	○
		過去形	寝た (JG-013-b)	C			場所	移動方向	に：学校に (JG-077-a)	C	
		命令形	寝ろ (JG-014)	M				移動方面	へ：東の方へ (JG-078-a)	M	○
		終止形	開ける (JG-007)	M	○			帰着点	に：東京に (JG-081-a)	M	○
	動詞 力変 来る	否定形	開けない (JG-008)	M	○			存在場所 (非意志的)	に：ここに (JG-083-a)	M	○
		過去形	開けた (JG-009)	C				存在場所 (意志的)	に：家に (JG-162-a)	C	
		命令形	開けろ (JG-010-b)	M	○			動作場所	で：運動場で (JG-084)	M	○
	動詞 サ変 する	終止形	来る (JG-032-b)	M	○		時間		に：五時に (JG-004-a)	C	
		否定形	来ない (JG-033-b)	M	○						
		過去形	来た (JG-034-b)	V							
		命令形	来い (JG-035-b)	M	○						
	動詞 ナ変 死ぬ	終止形	する (JG-036)	M	○						
		否定形	しない (JG-037)	M	○						
		過去形	した (JG-038)	C							
		命令形	しろ (JG-039)	M	○						
	動詞 ラ変 ある	終止形	死ぬ (JG-040)	M	○						
		連体形	あるのは (JG-083-b)	C							
		否定形	ない (否定形) (JG-093-b)	M	○						
		終止形	高い (JG-041)	M							
	形容詞 高い	連体形	高い物 (JG-042)	M	○						
		否定形	高くない (JG-060)	M	○						
		なる形	高くなる (JG-043)	M	○						
		て形	高くて (JG-044)	M	○						

大分類	中分類	小分類	分析対象 (番号)	分析対象 の主目的	GAJ	大分類	中分類	小分類	分析対象 (番号)	分析対象 の主目的	GAJ
格助詞	変化の結果		に：大工に(JG-082)	M	○	テンス	非過去	存在動詞	(聞き手が) いるか：0場面(JG-162-b)	V	
	引用		と：来ると言っていた(JG-090)	Nc			非過去(あいさつ)	存在動詞	いるか(非過去：あいさつ)(JG-113)	M	○
	引用(名称指定)		と：田中という人(JG-089)	M	○		過去(体験)	存在動詞	いた(過去-体験)(JG-114)	M	○
	連体格	非情物	の：バスの(JG-070)	C			過去(共有体験)	動詞 行く	行ったなあ(過去-共有体験)(JG-115-a)	M	○
		有情物(話し手)	の：台風の(JG-071)	C			過去(体験)	動詞 行く	行った(過去-体験)(JG-115-b)	C	
	連体格(所有準体)	有情物(話し手)	の：おれのだ(JG-068)	M	○		過去(非体験)	動詞 行く	行った(過去-非体験)(JG-115-c)	C	
	連体格	有情物(聞き手)	の：おまえの(JG-069)	C			過去(他者)	形容詞 強い	強かった(過去-他)(JG-116-a)	M	○
		有情物(目下)	の：どろぼうの(JG-074)	M	○		過去(自己)	形容詞 強い	強かった(過去-自)(JG-116-b)	C	
	連体格(所有準体)	有情物(目上)	の：先生の(JG-072)	M	○	可能	能力(肯定)	五段 読む	読むことができる(能力可能)(JG-119)	M	○
	連体格	有情物(親族(上))	の：〔長男※語彙項目JL-079〕の(JG-075)	Nv			能力(否定)	五段 読む	読むことができない(能力可能)(JG-118)	M	○
		有情物(親族(下))	の：〔次男以下※語彙項目JL-080〕の(JG-076)	Nv			能力(肯定)	一段 着る	着ることができる(能力可能)(JG-123)	M	○
	主題助詞		は：それは(JG-067-a)	C			能力(否定)	一段 着る	着ることができない(能力可能)(JG-122)	M	○
	準体助詞	形式名詞	あるのは(JG-083-b)	M	○		状況(外的条件)(肯定)	五段 読む	読むことができる(状況可能)(JG-121)	M	○
副助詞	対象の限定		だけ：皮だけ(食べた)(JG-095)	M	○		状況(外的条件)(否定)	五段 読む	読むことができない(状況可能)(JG-120)	M	○
			だけ：百円玉だけ(ない)(JG-096)	C			状況(外的条件)(肯定)	一段 着る	着ることができる(状況可能)(JG-125)	M	○
	対象の排除的特定化		ばかり：雨ばかり(JG-091)	M	○		状況(外的条件)(否定)	一段 着る	着ることができない(状況可能)(JG-124)	M	○
	対象の包括化		ごと：皮ごと(JG-092)	M	○	意志	肯定	五段 書く	書こう(意志)(JG-136)	M	○
	対象外の否定		しか：百円玉しか(ない)(JG-093-a)	M	○			一段 起きる	起きよう(意志)(JG-137)	M	○
	同時進行		ながら：食いながら(JG-094-a)	M	○	希望	否定	五段 行く	行かない(意志)(JG-138)	M	○
	適宜選択		でも：お茶でも(JG-097)	M	○		希望主体(話し手), 動作主体(話し手)	肯定, 五段 行く	行きたいなあ(JG-139)	M	○
条件	順接仮定事実	動詞 行く	行ったら(終わっていた)(JG-102)	M	○	希望	希望主体(話し手), 動作主体(第三者)	肯定, 五段 行く	行ってもらいたい(JG-140)	M	○
	順接仮定仮説 後件：働きかけ(命令)	動詞 行く	行ったら(電話しろ)(JG-104)	C		推量	動詞	五段 行く	行くだらう(JG-129)	M	○
	順接仮定仮説 後件：懸念	動詞 行く	行くと(だめになりそうだ)(JG-103)	M	○		名詞	名詞述語 雨だ	雨だらう(JG-128)	M	○
	順接仮定仮説 後件：働きかけ(依頼)	動詞 書く	書くなら(きれいに書いてくれ)(JG-105)	M	○		動詞準体型	五段 行く	行くのだらう(JG-130)	M	○
	順接仮定仮説 後件：表出(意志)	動詞 降る	降ったら(行かない)(JG-106)	M	○		動詞過去	五段 行く	行ったのだらう(JG-131)	M	○
	順接仮定仮説 後件：表出(推量)	形容詞 高い	高いなら(買わない)(JG-107)	M	○		動詞準体型過去	五段 行く	行ったのだらう(JG-132)	C	
	順接仮定仮説 後件：表出(推量)	動詞 降る	降れば(出ないのだらう)(JG-108)	M	○	確認要求			あるじゃないか(JG-133)	Nv	
	原因理由	接続助詞	から：降っているから(JG-098)	M	○				あるんじゃないか(JG-134)	Nv	
逆接	接続助詞	確定	けれども(JG-099)	M	○	伝聞	過去(非体験)	動詞	いたそうだ(伝聞過去-非体験)(JG-117)	M	○
		仮定	でも：行かなくても(JG-100)	M	○		非過去		雨だ(JG-126)	M	
			たつて：行つたためだ(JG-101)	M	○	断定	過去		雨だった(JG-127)	C	
アスペクト	進行	動作動詞(走る)	走っている(進行)(JG-109)	C		ヴォイス	受身	迷惑	追いかけられた(JG-088-b)	C	
		変化動詞(散る)	散っている(進行)(JG-110)	M	○		受益		助けられた(JG-087-b)	C	
	完了	動作動詞(読む)	読んでしまった(完了)(JG-111)	M	○	授与(遠心)	使役(力変来る)		来させる(JG-145)	M	○
	始動	動作動詞(食べる)	食べかける・食べかけている(始動a)(JG-112-a)	Nv			本動詞(物提供, 非過去：意志文)		やる(JG-141-b)	M	
			食べかける・食べかけている(始動b)(JG-112-b)	Nv			補助動詞(行為提供, 非過去：意志文)		読んでやる(JG-143)	C	

大分類	中分類	小分類	分析対象 (番号)	分析対象 の主目的	GAJ	大分類	中分類	小分類	分析対象 (番号)	分析対象 の主目的	GAJ
授与 (遠心)	補助動詞 (行為提供, 過去: 叙述文) 本動詞 (物 提供, 過去: 叙述文)		読んでやった (J G-144)	C		待遇 (対者)	動作主体＝ 聞き手 (上 位: B場面)	来る	〈聞き手が〉来る か: B場面 (JG -161)	M	○
			やった (JG-142)	M	○			いる	〈聞き手が〉いる か: B場面 (JG -164)	M	○
義務		五段 行く	行かなければなら ない (JG-135)	M	○		動作主体＝ 聞き手 (中 上位: A場 面)	書く	〈聞き手が〉書 くか: A場面 (JG -153)	M	○
禁止		五段 行く	歩くな (禁止) (JG-094-b)	M				行く	〈聞き手が〉行 くか: A場面 (JG -158)	M	
応答詞	肯定疑問	否定文回答	〈飲むのか〉い や, 飲まない (J G-146)	C				来る	〈聞き手が〉来る か: A場面 (JG -160)	M	
		肯定文回答	〈飲むのか〉う ん, 飲む (JG-14 7)	C				いる	〈聞き手が〉いる か: A場面 (JG -163)	M	○
	否定疑問	肯定文回答	〈飲まないの か〉うん, 飲ま ない (JG-148)	C			動作主体＝ 聞き手 (中 位: 0場面)	書く	〈聞き手が〉書 くか: 0場面 (JG -152)	V	
		否定文回答	〈飲まないの か〉いや, 飲む (JG-149)	C				書く	〈聞き手が〉書 くか: 父親に (J G-155)	Nv	
待遇 (第三者)	動作主体: 上位, 聞き 手: 中上位 (A場面)	来る	先生が来る: A 場面 (JG-169)	V			動作主体＝ 聞き手 (上 位親族)	いる	〈聞き手が〉いる か: 父親に (J G-165)	M	○
	動作主体: 上位, 聞き 手: 上位親 族	来る	先生が来る: 父 親に (JG-170)	V				動作主体＝ 聞き手 (中 位親族)	書く	〈聞き手が〉書 くか: 配偶者に (JG-156)	Nv
	動作主体: 上位, 聞き 手: 中位 (0 場面)	来る	先生が来る: 0 場面 (JG-168-b)	V		動作主体＝ 聞き手 (親 族: 本家/ 分家)			書く	〈聞き手が〉書 くか: [本家※ 語彙項目JL-08 3]・[分家※ 語彙項目JL-08 4]の主人に (JG -157)	Nv
	動作主体: 中上位, 聞 き手: 中位 (0場面)	来る	近所の知り合い が来る: 0場面 (JG-171)	V			待遇 (命令)	動作主体＝ 聞き手 (上 位: B場面)	来る	来い: B場面 (JG -167)	M
	動作主体: 中位, 聞き 手: 中位 (0 場面)	来る	友達が来る: 0 場面 (JG-172)	Nc		動作主体＝ 聞き手 (中 上位: A場 面)		来る	来い: A場面 (JG -166)	M	
	動作主体: 上位親族, 聞き手: 上 位 (B場面)	来る	自分の父親が来る : B場面 (JG-1 75)	M	○		人称代名詞	自称詞	おれが (JG-018-a)	M	○
	動作主体: 上位親族, 聞き手: 中 上位 (A場 面)	来る	自分の父親が来る : A場面 (JG-1 74)	M	○	対称詞		おまえが (JG-02 3-a)	M	○	
	動作主体: 上位親族, 聞き手: 中 位 (0場面)	来る	自分の父親が来る : 0場面 (JG-1 73)	C		挨拶	朝	聞き手: 中 上位 (A場 面)	おはよう (近所 の目上に) (JG- 181)	M	○
	動作主体: 上位親族, 聞き手: 中 上位 (A場 面)	来る	自分の父親が来る : 0場面 (JG-1 76)	C				聞き手: 中 位 (0場 面)	おはよう (友達 に) (JG-182)	C	
	動作主体: 上位親族, 聞き手: 中 位 (0場面)	来る	自分の父親が来る : 0場面 (JG-1 73)	C				聞き手: 家 族	おはよう (家族 (配偶者)に) (JG-183-a) おはよう (家族 (孫)に) (JG- 183-b)	Nv	
	動作主体: 上位親族, 聞き手: 中 位 (0場面)	来る	自分の配偶者が 来る: 0場面 (JG -177)	Nv					謝礼	ありがとう (JG- 184)	M
待遇 (畏敬天 体)	動作主体: 畏敬天体	のぼる	〔太陽※語彙項 目JL-124〕がの ぼった (JG-180)	Nv			食前	言語行動	いただきます (言語行動) (J G-185-a)	Nv	
		来る	〈自分が〉来る : B場面 (JG-15 1)	M	○			非言語行動	いただきます (非言語行動) (JG-185-b)	Nv	
待遇 (対者)	動作主体＝ 話し手, 聞 き手: 上位 (B場面)	来る	〈自分が〉来る : B場面 (JG-15 1)	M	○	食後	言語行動	ごちそうさま (言語行動) (J G-186-a)	Nv		
	動作主体＝ 話し手, 聞 き手: 中上 位 (A場面)	来る	〈自分が〉来る : A場面 (JG-15 0)	M	○		非言語行動	ごちそうさま (非言語行動) (JG-186-b)	Nv		
待遇 (断定辞)	名詞述語, 聞き手: 上 位 (B場面)	雨だ	雨だ: B場面 (JG -179)	M	○	詠嘆	感覚 (熱 い)	感覚 (熱い) (J G-187-a)	Nv		
	名詞述語, 聞き手: 中 上位 (A場 面)	雨だ	雨だ: A場面 (JG -178)	M	○		感情 (恐 い)	感情 (恐い) (J G-187-b)	Nv		
待遇 (対者)	動作主体＝ 聞き手 (上 位: B場面)	書く	〈聞き手が〉書 くか: B場面 (JG -154)	M	○		状態 (高 い)	状態 (高い) (J G-187-c)	Nv		
		行く	〈聞き手が〉行 くか: B場面 (JG -159)	M	○						

全国方言準備調査 調査票
国立国語研究所 全国方言調査委員会

2009 年 1 月印刷

連絡先

〒190-8561

東京都立川市緑町 10-2 国立国語研究所

大西拓一郎

